

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
も-1	西野創一郎 准教授	茨城	業界を問わず「ものづくり」の現場でお困りの問題があれば御相談ください	プレス加工	高張力鋼板	マグネシウム合金
も-2	森善一 教授	茨城	ロボティクス メカトロニクス	福祉・介護ロボティクス	メカトロニクス	
も-3	山根 敏 教授	埼玉	溶接現象の解明、溶接システムの自動化、電磁界計測・解析	溶接現象	ロボット	溶接電源制御
も-4	福岡泰宏 教授	茨城	災害救助ロボット	素早く移動するロボット	ロボットを用いた生物の真理の解明	ヒューマノイドロボット
も-5	齋藤芳徳 教授	茨城	プロダクト、建築、インテリア、福祉機器、福祉用具	ユニバーサルデザイン	生活支援	介護支援
も-6	山田 功 教授	群馬	各種機械の制御・高性能化・高機能化、機械設備の自動化・安全、回転機械の諸問題	ロボスタ制御理論	機械の知能化	ロボット
も-7	中沢信明 教授	群馬	ヒトの手先技量に関する計測技術、各種インタフェースの開発技術	ヒューマンインターフェース	ロボティクス	福祉機器
も-8	山本利一 教授	埼玉	工業計測の教材への応用。各企業の持つ最先端技術の理解促進。発電教材関係の知的財産。学校教育に対する直接支援。学校現場との太いパイプ	教材・教具	学習評価	カリキュラム開発
も-9	蔭山 健介 教授	埼玉	厚さ0.1mm以下で折り畳み可能な柔軟性を有するフィルム状センサ。1Hz～500 kHzまでの超広帯域での音響・超音波（空中）をセンシング可能。基板に実装することでセンサをアレイ化可能。空中超音波センサの場合、近距離（2cm以上）での位置検出可能（従来型は30cm以上）	音響センシング	空中超音波センシング	エレクトレット
も-10	山本 浩 教授	埼玉	振動解析, 振動計測, 軸受特性解析	防振機構	気体軸受	すべり軸受
も-11	清水年美 准教授	茨城	振動制御, 運動制御, ロボット制御	柔軟構造	機械システム	振動制御
も-12	小山真司 教授	群馬	金属材料の接合(固相接合, ろう・はんだ付) 金属材料の表面硬化 機械的特性(強度・摩耗)の評価	低温接合	耐摩耗性	界面および金属組織制御
も-13	丸山真一 教授	群馬	振動騒音の低減対策 動的設計開発 振動騒音計測・解析	振動解析	振動騒音分析	薄肉構造
も-14	琴坂信哉 准教授	埼玉	ロボティクス、メカトロニクス、センサ技術、安全工学、機械設計	ロボット安全	運動軌道生成	多足歩行ロボット
も-15	本間俊司 教授	埼玉	CFD(数値流体力学)による流体解析の豊富な知見。反応プロセスおよび分離プロセスの数値解析	数値流体力学	移動現象	界面、液滴
も-16	安武幹雄 講師	埼玉	多くの電子デバイスを構成する分子構造はポリマー構造のものが多く研究されており、それらは剛直で加工性等に欠ける。その点、流動性と秩序性を併せ持つ液晶は、均一な薄膜形成等の利点を持つ。また、これらは加熱冷却操作で再組織化できるため有利である。さらに液晶化合物の分子構造に電子アクセプター部位ドナー部位を持たせたことは、今回の特徴と独創的な点である。この研究は多彩なエレクトロクロミズムの可能性を秘めた材料開発である。	液晶材料	エレクトロクロミック材料	有機半導体材料
も-17	金子裕良 教授	埼玉	ワイヤレス給電システム設計に役立つ回路解析や電磁界解析。磁界解析ソフトと実機製作環境による高効率で小型化かつ低レベルな漏洩磁界環境を目指したワイヤレス給電パッドの開発実績。EVや電動アシスト自転車などの駐車中かつ走行中給電システムの研究開発。外部磁場をアーク溶接に活用した研究開発やフィジカルAIの溶接応用研究。特許も多数出願実績あり。	ワイヤレス給電	電動モビリティ、EV	溶接加工の自動化・知能化
も-18	内田秀和 教授	埼玉	・イスに匹敵する高感度な匂い識別センサ ・呼吸測定による疾病診断のための高感度な酵素センサ ・初期火災検知のための信頼性の高いガスセンサ ・創薬スクリーニングのための新型マイクロアレイシステム	嗅覚	呼吸病理診断	ガスセンサ
も-19	金子順一 教授	埼玉	工作機械が本来有するパフォーマンスを引き出すための工程計画支援技術。大規模複雑形状（自動車用プレス金型、多軸制御切削による航空機部品製造）特有の技術的課題の解決。並列計算技術（GPGPU）に基づく実時間計算の実現。各社の製造上の課題に対応したシステム／アルゴリズムの検討および開発	切削加工	CNC加工	計算機シミュレーション
も-20	高崎正也 教授	埼玉	超音波を励振するための圧電材料が対応できる温度（極低温～キュリー温度）においてポンプとして利用可能。摺動部が無いため、摩耗の心配がない。振動子の設計次第で小型化が可能・特願2014-243990	超音波	ポンプ	
も-21	半谷禎彦 教授	群馬	ポーラス金属の作製法、ポーラス金属の特性評価、ポーラス金属の高機能化、アルミウム合金ダイカスト製品の品質向上に関する研究、金属接合の易解体	多孔質（ポーラス）アルミニウム	金属接合の易解体	軽量化
も-22	田所千治 教授	埼玉	摩擦力と潤滑膜厚の同時計測による摩擦現象の解明。摩擦力の向きに着目した制振設計（特願2017-91962）。摩擦材料と機械設計の両側面からのアプローチ	トライボロジー	ダイナミクス	自律システム
も-23	林偉民 教授	群馬	超精密加工、超微細加工、研磨加工、塑性加工、機上計測法、生産システム	超精密加工	超微細加工	研磨加工
も-24	西田進一 助教	群馬	製造業 金属加工業	鍛造	プレス成形	粉末冶金
も-25	阿部壮志 准教授	埼玉	異種金属を用いた一体造形が可能 大型製品へ適用可能 切削仕上げとの複合加工	金属3Dプリンタ	Additive Manufacturing	溶接
も-26	坂井建宣 教授	埼玉	アコースティックエミッション法による機器のオンラインモニタリング。分子動力学シミュレーションによる高分子材料の変形挙動の解明。弱接着状態の検出に向けた分子動力学シミュレーションによる力学的解析。複合材料のアコースティックエミッション法による損傷解析。複合材料の損傷発生・蓄積挙動の粘弾性的評価	複合材料	アコースティックエミッション	・分子動力学シミュレーション
も-27	山田洋平 准教授	埼玉	半導体材料を何でも薄く切断 ～レーザスライシング～ ・従来法と比較して、材料ロス1/3以下、加工時間1/2以下 ・工具摩耗なし、加工廃液なし、環境にやさしい ・Si、SiC、GaN、ダイヤモンド等、単結晶であれば加工可能 ・ガラスやプラスチック等、適用範囲の拡大模索中	レーザスライシング	砥粒レス研磨	レーザ加工
も-28	乾正知 教授	茨城	CAD/CAMシステム開発、GPU技術を利用したプログラム開発	金型製造	CAD/CAM	形状モデリング
も-29	池野順一 教授	埼玉	新たな精密・微細加工法でモノづくりの可能性を広げる！ ・半導体基板材料のCMPおよびCMG（鏡面研削砥石） ・レーザによる各種材料の3次元加工技術（ガラス、PMMA） ・SiCやダイヤモンド、Siなど半導体基板材料の材料ロスゼロの剥離加工 ・レーザによる剥離を利用した非球面レンズ成形加工 ・砥粒レスパフ摩擦によるSiCの高効率鏡面（従来の100倍の能率）研磨法	レーザ加工	レンズ成形加工	CMP
も-30	荒居善雄 教授	埼玉	機械材料・部品の強度を高精度に予測するシステムを構築。機械構造の破損原因をフラクトグラフィにより究明。機械のニーズに応じて破壊をコントロール	材料強度	高精度予測	軽量化
も-31	渡邊鉄也 教授	埼玉	さまざまな免震機構を提案。マルチボディーダイナミクスを用いて柔軟な紐の挙動を解析できる。振動低減、騒音低減への方針を提案	機械力学	振動工学、耐震	音工学、スポーツ工学
も-32	石戸 勉 助教	宇都宮	・気泡や液滴をキーワードとした流体工学の基礎 ・環境負荷の少ない流体工学的技術に関して	流体工学	マイクロバブル	キャビテーション

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
も-33	鈴木 雅康 准教授	宇都宮	制御工学 ・制御理論の追究と産業応用 ・多自由度変調を利用したパルス駆動系の制御と応用 ・プラント・ネットワーク系のモデリングと制御	モーションコントロール	モータ制御	機械学習
も-34	船渡 寛人 教授	宇都宮	・高効率と電磁環境を両立させた電力変換回路 ・非接触給電(主に電界結合) ・再生可能エネルギーとマイクログリッド	パワーエレクトロニクス	電力変換回路	再生可能エネルギー
も-35	原 紳 助教	宇都宮	ものづくりセンター 機械工学 ・自動化 ・生産技術 ・高音波援用加工	オートメーション	ロボットインテグレーション	
も-36	尾崎 功一 教授	宇都宮	ロボティクス、ロボット技術の応用 ・社会実装を目指した技術技術の開発、実装、応用 ・農業などフィールドで機能するロボットの研究開発 ・ロボット知能やユニーク機構を持つロボットの研究開発	農業支援ロボット	フィールドロボット	磁気ナビゲーション
も-37	加藤 直人 助教	宇都宮	・流れのコンピューターシミュレーション ・カルマン渦励振、縦渦励振等の流体関連振動 ・学生フォーミュラ、レーシングカー、自動車の空力	流体力学	風洞実験	数値解析 (CFD)
も-38	佐藤隆之介 准教授	宇都宮	・固定砥粒研磨加工技術 ・CMPおよびナノスケール表面の創成とSPM解析技術 ・超砥粒ホイールの研削特性に関する研究	鏡面仕上げ	高能率加工	ナノスケール微細加工
も-39	鄒 艶華 教授	宇都宮	・磁気機能性流体を利用した超精密内面磁気研磨技術 ・高能率内面及び平面の磁気バリ取り技術の開発 ・超微細複雑形状部品表面及び超微細孔ノズルの精密研磨技術の開発研究	精密加工学	磁気研磨技術	磁気バリ取り技術
も-40	白 寄 篤 准教授	宇都宮	・金属管を素材とする塑性加工 (特に円管のハイドロフォーミング) ・金属部品の塑性流動結合	塑性加工技術	金属材料の塑性変形	金属部品の軽量化
も-41	星野智史 准教授	宇都宮	ロボティクス、人工知能 ・ロボットの自律移動(自動運転)技術 ・パーソナルモビリティの操作インタフェース ・警備ロボットシステム ・上体ヒューマノイドロボットによる物体ハンドリング	ロボティクス	人工知能	自動運転
も-42	ミヤグスク・リオスレナート 准教授	宇都宮	知能機械システム ・確率的ロボティクス・機械学習 ・スモールモビリティによるラストワンマイル ・信号強度地図活用によるロボットナビゲーション	自律移動ロボット	ナビゲーション	機械学習
も-43	佐久間 洋志 准教授	宇都宮	・永久磁石を用いた磁場源の開発 ・ナノスピントロニクスのためのプローブ顕微鏡の開発 ・X線を用いた薄膜の結晶構造や配向等の解析	磁気測定	磁性材料	X線回折
も-44	小貫哲平 教授	茨城	光計測・精密計測／ものづくり全般における計測・データ取得に関する研究 (具体例: 顕微Raman3Dイメージングによる加工損傷(変質層)の非破壊観測技術／半導体ウエハの加工変質層非破壊観測や研削ホイール作業面状態観測など工業的な分野で観測困難な対象への計測技術開発／半導体発電デバイスや電池材料、電極材料などの劣化プロセスの研究、半導体および誘電体の単層から多層構造の厚さ分布計測および金属膜の反射端分光計測による品質評価など)	顕微Raman 分光	非破壊観測	その場計測
も-45	長谷川有貴 准教授	埼玉	植物の生体電位測定技術は、農業現場の環境制御に活用でき、省エネルギー、高効率な栽培技術の実現に寄与できる。観葉植物、樹木(盆栽)、葉菜類、果菜類など種類を選ばず測定可能。非侵襲・低侵襲で植物の活性や状態を把握・評価できる。	植物生体電位	植物活性	生育制御
も-46	木山 仁仁 准教授	埼玉	「泡・キャビテーション」の問題ならお任せください。 液体に圧力低下や温度上昇が生じると突発的な泡が発生し、金属表面を傷つけるほどの衝撃を生じます。この衝撃を適切に制御することで機械の長寿命化することが出来ます。水撃作用の制御を利用したメンテナンスフリー送液装置、脳損傷防護デバイスなどの研究開発を行っています。	キャビテーション	混相流れ	気液界面
も-47	藤城 貴史 教授	埼玉	●金属酵素やPLP 酵素の研究実績が豊富です。	金属酵素	X 線結晶構造解析	PLP
も-48	中田 憲男 教授	埼玉	●周期表全体の多様な元素の取り扱いに精通し、配位子設計から錯体合成、さらには触媒機能の探索までを一貫して遂行できます。 ●「元素特性」を活用し、貴金属代替、二酸化炭素の有効活用、PFAS 代替材の開発など、持続可能な社会の構築に向けた取り組みで貢献できます。	典型元素化学	元素特性	二酸化炭素の化学変換
も-49	武田 博明 教授	埼玉	●チョクラルスキー法、ブリッジマン法、水熱合成法、フローティングゾーン法等の各種育成法の装置の所有 ●上記結晶育成法のノウハウ蓄積による所望化合物の単結晶化へのアドバイス ●新規機能性セラミックス材料創製へのアイデア創出	単結晶	セラミックス	サーミスタ
も-50	小玉 翔平 助教	埼玉	●さまざまな結晶育成法を比較して試験できます。 ●機械特性、電気特性、光学特性を評価できるセットアップが整っています。 ●結晶構造解析・各種特性評価を通して最適な結晶を探索しています。 ●シンチレータ(放射線センサー用材料)の研究を通して、放射線・原子力分野との連携も行っています。 ●福島第一原子力発電所モニタリング用の赤色発光シンチレータの開発 ●中性子検出用シリケート酸化物単結晶のブラックス育成 ●安価・簡便な原料粉末前処理技術の確立	バルク単結晶	結晶工学	光学材料
も-51	PUNPONGSANON PARINYA (ブンボンサンノン パリニャ) 准教授	埼玉	●新規研究要素 ・食品そのものへのデータ埋め込み可能 ・食品の外形だけでなく、その内部構造を自在に設計することができる ●優位性 ・内部構造を自在に設計することで、食品の食感等も変化することができる	食品3D プリンター	食品のDX	ヒューマンフードインタラクション
も-52	姜 東赫(カンドンヒョク) 教授	埼玉	【産業界へのアピールポイント】 ●流れの設計 ●流れの制御 ●流れの推定 ●流れによる振動と騒音問題 ●流れによる異常検知	流体不安定現象	流れの制御	噴流

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
も-53	前田 慎市 准教授	埼玉	●デトネーションは瞬間的に高圧・高温・高速の燃焼ガスを生成できます。 ●デトネーションを利用すれば、マッハ数5 ～ 7 の強い衝撃波を生成できます。 ●基礎研究に立脚したデトネーション制御技術を有しています。 ●超高速カメラを用いた衝撃波、超音速流れ、燃焼の可視化観測を行っています。 ●爆発安全技術として、デトネーションの抑止技術の研究も行っています。	内燃エンジン	デトネーション(爆轟)	衝撃波
も-54	成澤 慶宜 助教	埼玉	●運動と振動の解析から、計測・制御までメカトロニクス全般を扱います。圃場でお困りのことがあれば是非お聞かせください。 ●野菜収穫ロボットへの応用	メカトロニクス	制御	農業
も-55	程島 竜一 准教授	埼玉	●化学繊維ワイヤネットワークにより多関節を協調して駆動する強力な駆動系設計法 ●三次元不整地を自在に歩行するための歩行パターン生成手法 ●歩行ロボットに特化した環境認識システム ●重力の影響を無効化し水平面と同様に急斜面を移動できる自重補償システム ●人に代わり危険な場所で作業を行うフィールドロボットシステム ●山岳地での崖崩れや地滑り予防のための安全度調査など土木分野への応用、都市部でのビルや橋梁の老朽化調査など社会インフラ分野への応用 ●配管やタンクなどの点検や改修などプラントメンテナンス分野への応用	6脚ロボット	ワイヤ牽引	不整地歩行
も-56	大澤 優輔 助教	埼玉	●身体的個人差を考慮した歩容フィードバック訓練システム。生成された目標歩容を理学療法士に確認していただき、学習の妥当性を確認。 ●多様な歩行障害の学習により、汎用性の拡大が期待できます。 ●実空間情報を考慮したVR 映像生成による歩行支援システム。実空間情報を反映するため、任意の場所で安全に利用可能。光景の変換内容の変更により、モチベーションの維持だけでなく、リラククス効果や歩容への影響も期待できます。	生体情報	動作解析	リハビリ
も-57	末田 美和 助教	埼玉	●理論制御を必要としない、同期現象を用いた複数の回転機械の振動数制御 ●エネルギー条件に基づいた振動機械の最適設計 ●モータなどを用いた回転機械に対する制振機構の開発	同期現象	非線形振動	振動利用
も-58	橋本 誠司 教授	群馬	制御・推定・診断・脳波解析などの応用研究を推進しています。AIによる異常検知や燃焼予測にも取り組み、産業応用を見据えた実装技術の確立を目指しています。	知能化制御	モーションコントロール	故障診断
も-59	武石 桐生 助教	埼玉	・圧縮ガスや油・水などの液体を利用した機器の実験・解析 ・弾性体・流体の数値解析	流体機械	数値計算	
も-60	小島 朋久 准教授	埼玉	●軽量で優れた耐衝撃性を有するメタマテリアルの設計 ●高ひずみ速度下における材料特性評価手法の開発 ●飛散防止フィルムによるガラス板の耐衝撃性向上 ●異種材料接着接合界面の高速せん断破壊特性の解明	メカニカルメタマテリアル	衝撃吸収材料	動的材料

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
情-1	武田茂樹 教授	茨城	携帯無線機用小形アンテナ(多周波偏波共用アンテナ)アレーアンテナ最適設計技術(小形MIMOアンテナ/フェードアレー給電回路、時空間信号処理など) RF-IDアンテナ(金属体貼付アンテナ、微小タグ用アンテナ) 多重波環境における無線局位置推定(屋内、無線LANの活用) 既設構造物体を活用した電磁波伝送とそのシステムへの応用	アンテナ	パッチアンテナ	アレーアンテナ
情-2	島村徹也 教授	埼玉	ノイズ環境下での信号分析、特に音声分析・雑音除去に世界的な研究成果あり。骨伝導による音声では世界で始めて音質改善に成功。各種信号・画像・音声におけるノイズ問題、品質評価、機械装置の異常検知などの解決に取り組んできた実績多数。共同研究の実績も豊富。	ディジタル信号処理	ノイズ除去	異常検知
情-3	上田賀一 教授	茨城	オブジェクト指向開発支援 プロセス改善支援 ソフトウェアモデリング	オブジェクト指向開発	組込みソフトウェア	UML
情-4	梅津信幸 准教授	茨城	画像処理、図形処理、可視化	画像データベース	音楽情報処理	特徴抽出
情-5	宮嶋昭行 教授	茨城	移動通信や無線LANの送受信機設計	無線通信	統計的信号処理	適応信号処理
情-6	矢内浩文 准教授	茨城	意図 癖 エラー モノの使いやすさ	非言語情報	無意識	感性
情-7	鎌田賢 教授	茨城	サイバーマルチメディア一般	状態遷移図	ブラウザプログラミング	Webサービス
情-8	木村雄一 准教授	埼玉	シミュレーションと実験の両面から研究を推進しています。様々なタイプの平面アンテナの研究・開発を行っています。マイクロストリップアンテナ(MSA)の更なる高性能化・高機能化に取り組んでいます。MSAは厚さ1mm程の誘電体基板を用いて製作され、小形・薄型・軽量等の特長を有しています。準ミリ波～ミリ波帯向けにねじ止めによる組み立てが可能となる逆共振振導波管アンテナの研究を進めています。	マイクロストリップアンテナ	導波管スロットアンテナ	電磁界解析
情-9	羽濤裕真 教授	茨城	CDMA技術の理論・応用、通信方式設計	無線通信	光空間通信	ITS情報通信
情-10	鶴野克宏 准教授	茨城	レーザー応用 光情報処理 光計測	レーザー	物体認識・識別	非回折ビーム
情-11	佐々木稔 准教授	茨城	情報検索システム 情報抽出 各種データ分析	単語語義識別	データマイニング	パターン認識
情-12	茂木和弘 准教授	群馬	組み込みシステム、ソフトウェア開発	組み込みシステム	非破壊検査	数値解析
情-13	伊藤和人 教授	埼玉	LSI実装したい処理の特徴分析と、特徴を活かした高性能LSIの設計。静止画、動画処理のLSI実装向け並列高速化。複数のLSI実装選択肢を計算機により高速自動探索。焼きなまし法と整数計画法を組み合わせた汎用性のある演算スケジューリング探索によるLSI設計自動化	大規模集積回路	設計自動化	画像処理
情-14	吉浦紀晃 教授	埼玉	ソフトウェア作成前にソフトウェア仕様を検証することにより、システム設計段階での仕様の不備や欠陥の検出し、ソフトウェア開発の効率化が可能。ソフトウェアの自動合成を行うことが可能。コンピュータネットワークの管理運用やセキュリティ技術	仕様検証	ソフトウェア検証	ソフトウェア自動合成
情-15	馬 哲旺 教授	埼玉	情報通信機器用の小形高性能高周波回路素子の開発、マイクロ波ミリ波フィルタ設計開発。デバイス用基板材料電気特性の測定方法	マイクロ波	ミリ波	高周波フィルタ
情-16	外岡秀行 教授	茨城	衛星画像処理、放射率スペクトル解析	衛星画像	熱赤外画像	リモートセンシング
情-17	弓仲康史 教授	群馬	アナログ・ディジタル信号処理/集積回路、高速信号伝送、生体情報センシング、ICT活用の医療福祉応用	多値論理	アナログ・ディジタル集積回路	高速信号伝送
情-18	小室 孝 教授	埼玉	民間企業との共同研究の経験が豊富にあります。拡張現実感を用いた作業支援システムや、インタラクティブシステムの設計のほか、画像処理関連の各種相談も広く受け付けます。	画像処理	コンピュータビジョン	拡張現実感 (AR)
情-19	辻 俊明 准教授	埼玉	演算アルゴリズムを実装すればデバイス部に限らず機械全体にインタフェースの検知領域が拡張される。力覚センシングにおいてはデバイスとインタフェースは分離可能であり、設計上の制約が除外できることを示している。近い機能を持ったものとしてはタッチパネルが挙げられるが、(1)インタフェース部にデバイスと導線を配置する必要がない(2)力の大きさや方向の情報を取得できる、という2点で本技術が優位である。	触覚	力覚	センサ
情-20	奥 寛雅 教授	群馬	映像機器(カメラ)の視線・映像制御、高速オートフォーカス・全焦点撮像、医療用光学機器(顕微鏡・内視鏡)の高機能化・撮像制御、製造技術・FA・ロボットにおける撮像制御、食の映像演出	撮像制御	高速画像処理	高速光学素子
情-21	加藤 毅 教授	群馬	画像診断、データ解析、統計的予測	機械学習	画像解析	データ解析
情-22	伊藤直史 准教授	群馬	非破壊検査、画像再構成アルゴリズム、EIT、画像応用計測、画像復元、CGH	逆問題解法	計算機断層撮像法(CT)	熱画像計測
情-23	天野一幸 教授	群馬	大規模あるいは計算困難な問題に対するアルゴリズムの提供、およびソフトウェアの開発	高速アルゴリズム		
情-24	綿貫啓一 教授	埼玉	人間の認知・判断・行動過程を解明し、心理・認知状態の定量的評価、意思どおりに行動支援できるブレイン・マシン・インターフェイス技術。深層学習などのAI技術を応用し、各種生体情報の分析。機械の状態監視をIoT技術で行い、AI技術により損傷予測。生体情報計測関連機器多数保有：非侵襲脳機能計測装置、バイタルサイン計測装置、血管内皮機能FMD検査装置、温熱環境評価実験室、バーチャルリアリティ装置、ハプティック装置、高速度カメラ、モーションキャプチャ装置、視線計測装置など	ヘルスケア	生活支援	生体情報測定
情-25	小林貴訓 教授	埼玉	レーザー距離計で人を追跡し、動線を計測する技術を保有している。事前に作成した地図に基づいて自分の位置を知り、障害物を避けながら目的地まで自動走行する技術を保有している。人と一緒に移動するロボットは、どう振舞うべきかのノウハウを保有している。移動体の動き方に関して特許を複数保有している。	人物追跡	移動ロボット	ヒューマンロボットインタラクション
情-26	後藤祐一 准教授	埼玉	ビッグデータを用いたデータマイニングが一般的になった時の次の課題「得られた多くの経験則をどう組み合わせるのか」(情報マイニング)に役立ちます。自動推論を基礎づける論理として準無矛盾論理の一つである強相関論理を採用しています。このため、非完全情報下における推論を行っても無意味な推論になりません。	人工知能	自動推論	論理学
情-27	内田淳史 教授	埼玉	世界最速の高速物理乱数生成 情報理論的に安全な秘密鍵配送方式と情報セキュリティ リザーバコンピュータリングを用いた人工知能	複雑系フォニクス	レーザー、カオス	情報セキュリティ
情-28	大久保潤 教授	埼玉	特定の技術(シーズ)というよりも、確率的なモデルを構築するための知識と経験(ノウハウ)を持っています。企業が所有しているデータを一緒に見ながら、モデル構築や解析を進める部分についてサポートできます。	確率的情報処理	機械学習	時系列データ処理
情-29	田井野徹 准教授	埼玉	高感度センサを、大面積かつ最小不感面積で実現。吸収体の選択により、様々な光子に対応可能。注目を集める超伝導量子コンピュータをはじめ、低温分野における3次元実装への対応。 多数の登録された特許あり	超伝導検出器	X線	中性子、テラヘルツ波
情-30	朴 英元 教授	埼玉	アーキテクチャ分析(設計支援装置及び設計支援方法)の特許出願。アーキテクチャ改善の方向性とメカ制御連携問題の解決。設計・実験のプロセス改革。理想的なモジュール設計の実現。アーキテクチャ分析による全社ITの統合	アーキテクチャ分析	全社ITシステムの統合	理想的なモジュール設計
情-31	伊藤 和人 教授	埼玉	LSI実装に適したレジスタ・ブリッジ型並列アーキテクチャの開発。レジスタ・ブリッジ型アーキテクチャ向け設計自動化手法の開発。冗長化による高信頼LSIの回路方式考案及び設計自動化手法の開発。SIFT画像特徴量の実時間抽出LSIの設計	大規模集積回路	設計自動化	画像処理

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
情-32	関口和彦 教授	埼玉	屋内外問わず粒子状汚染物質に関する必要な情報を提供します。また、粒径別分級捕集や成分分析など、粒子状汚染物質の実測もサポートします。空気浄化手法への化学反応の応用や分解生成物の効果的な制御手法など、ガス状汚染物質の処理に関して技術的な提案やサポートが可能です。有害物質や排ガスに対する処理装置に関して、複数の特許を出願しています。	大気汚染	PM2.5	超微小粒子
情-33	河西憲一 准教授	群馬	情報ネットワーク、コンピュータシステムなどのリソース設計、性能評価	ネットワーク性能評価	確率モデル	待ち行列理論
情-34	三輪空司 教授	群馬	RC構造物の劣化評価 地中レーダ応用技術 コンクリートレーダ応用技術	レーダシステム	ドップラ計測	コンクリートレーダ
情-35	Md Abdus Samad Kamal (モハマド アブドスサマド カマル) 准教授	群馬	自動運転、AI、機械学習、協調型制御システム	自動運転	モデル予測制御	サイバーフィジカルシステム
情-36	本島邦行 教授	群馬	電磁波解析 電波伝搬解析 電磁波計測 無線通信制御	金属探傷試験	電波伝搬	マイクログリッド
情-37	杉原 興浩 教授	宇都宮	・赤外自己形成光導波路とシリコンフォトニクス光接続 ・光学用有機―無機ハイブリッド材料開発と光デバイス ・高速車載光通信システム開発と標準化 ・6Gのための光データ伝送処理	光接続	有機―無機ハイブリッド材料	光ファイバ通信システム
情-38	清水 隆志 准教授	宇都宮	・マイクロ波・ミリ波帯における誘電体・導体材料の特性評価技術に関する研究 ・ミリ波低損失受動回路の実現に関する研究 ・ミリ波集積回路の実装技術に関する研究	誘電体	マイクロ波、ミリ波	IoT
情-39	外山 史 教授	宇都宮	・大規模な組合せ最適化問題に対するメタ戦略アルゴリズムの開発 ・進化計算を用いた最適化アルゴリズムの開発	進化計算	遺伝的アルゴリズム	ビッグデータ
情-40	長谷川 まどか 教授	宇都宮	画像情報工学 ・画像解析によるミツバチの巣の育房状態の自動分類 ・色相保存型可逆電子透かしに関する研究 ・マンモグラフィ読影学習支援用画像データベース開発	画像処理	画像選択型認証	画像情報工学
情-41	東口武史 教授	宇都宮	・高繰り返し高出力レーザー（ファイバーレーザー、固体レーザー）の開発 ・EUV光源、軟X線光源の開発、軟X線顕微鏡の開発 ・中赤外レーザー、超広帯域光源の開発	安価なレーザー技術	紫外線からX線の短波長光源・検出	近赤外から中赤外の長波長光源・検出
情-42	平田 光男 教授	宇都宮	制御工学 ・先端的制御理論 ・高速かつ高精度なモーションコントロール ・制御理論の産業応用	モーションコントロール	運動や振動の制御	モータ制御
情-43	藤井 雅弘 准教授	宇都宮	・無線通信システム ・高度交通システム ・位置情報システム	自動運転	信号処理	ビッグデータ
情-44	森博志 准教授	宇都宮	・モーションキャプチャを利用した3DCGアバターの操作支援技術 ・CG人表現を利用したインタラクティブシステム ・着物のバーチャル試着および製作支援のためのCGシミュレーション	コンピュータグラフィックス	モーションキャプチャ	バーチャルリアリティ
情-45	山登 一輝 助教	宇都宮	・高速フィードバック3次元顕微鏡の創出 ・深層学習によるMRI画像再構成の高速化 ・深層学習を利用したマンモグラフィ画像診断システム	画像処理	電子透かし	コンピュータビジョン
情-46	山本 裕紹 教授	宇都宮	・空中ディスプレイおよび空中ヒーター技術 ・3Dなどの新機能デジタルサイネージ	3Dディスプレイ	セキュアディスプレイ	デジタルサイネージ
情-47	ヘーガン・ネイザン 教授	宇都宮	・動的現象のイメージング・測定 ・高精度光学設計 ・計算センシング	分光イメージング	画像処理	赤外線・紫外線イメージング
情-48	熊谷 幸汰 助教	宇都宮	情報光学 ・ボリュメトリックディスプレイ ・計算イメージング ・VR/AR	ディスプレイ	ホログラム	イメージング
情-49	早崎 芳夫 教授	宇都宮	・ホログラフィックレーザー加工の完全自動運転 ・レーザー加工と光画像計測の研究の省人化・自動化 ・体積的ディスプレイ、ホログラフィックアート ・AIと人との光インタフェース	サイバー・フィジカルシステム	ホログラフィ	リモートラボラトリ
情-50	長谷川 光司 教授	宇都宮	・AVコンテンツ視聴環境に向けた視聴覚相互作用に関する研究 ・自動車車室内での音環境に関する研究 ・伝統工芸品の魅力を発信する多感覚融合ICTシステムに関する研究 ・絶対音感保持者の音高同定能力の低下に関する研究	音響計測	音場制御	視聴覚提示技術
情-51	山仲 芳和 助教	宇都宮	・非線形力学系に基づく多点探索型最適化手法の研究 ・実現象と高精度に一致する力学モデルの構築・同定に関する研究	最適化手法	パラメータ同定	非線形力学
情-52	森大毅 准教授	宇都宮	音声言語情報処理、音声コミュニケーション学 ・音声言語(=話し言葉)の科学 ・話し言葉を理解し、話し言葉を話す機械 ・感情表出(Affectburst:感動詞、笑い、叫び)の生成モデル	バラ言語情報	音声対話	音声合成
情-53	依田秀彦 准教授	宇都宮	情報通信, 光エレクトロニクスデバイス ・光ファイバ通信用デバイスの原理/設計/解析/作製/評価に関する研究(特に作製) ・赤外計測	光デバイス	光学薄膜	光導波路
情-54	吉田 勝俊 教授	宇都宮	計測と制御 ・機械振動のモデル化と状態推定 ・ヒトゆらぎ運動のモデル化と予測評価 ・非線形解析とランダム振動解析	機械やヒトの運動・振動	数理モデル化	振動
情-55	東 剛人 准教授	宇都宮	システム制御工学 ・低コスト化を実現する生産管理スケジューリングの設計 ・システム制御工学に基づいた省エネルギー技術の開発 ・カーボンニュートラルにおける高精度予測手法の開発	システム制御	低コスト	省エネルギー
情-56	大津 金光 教授	宇都宮	・高性能計算アーキテクチャ ・並列化/最適化コンパイラ ・FPGA向け並列処理ソフトウェアプロセッサ	高性能計算アーキテクチャ	システムソフトウェア	計算機システム
情-57	古神 義則 教授	宇都宮	・通信用マイクロ波・ミリ波回路の設計技術 ・マイクロ波・ミリ波回路の材料計測技術への応用	マイクロ波・ミリ波回路	無線通信	誘電体材料
情-58	佐藤 美恵 教授	宇都宮	・AR技術を利用した現実感の高いインタラクション ・高臨場感をもたらす画像表示	感性情報処理	映像提示技術	画像処理
情-59	篠田 一馬 准教授	宇都宮	・スナップショット分光偏光カメラの開発 ・線形逆問題による画像復元 ・遠隔迅速病理診断のための画像システム	画像処理	画像圧縮	フォトニック結晶

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
情-60	高橋さつき 准教授	群馬	インストラクショナルデザイン、ARCSモデル、ゲーミフィケーション、マイクロラーニング等を用いた患者教育・健康教育のためのeラーニング、アプリケーションソフトウェアの開発と、ユーザビリティ評価	患者教育	コンピュータ支援学習	ユーザビリティ
情-61	間邊哲也 准教授	埼玉	●大規模商業施設、駅や空港、公共施設、工場・倉庫等における、人やモノの位置・動線の見える化技術。 ●行動経済学分野の「ナッジ」を利用した、施設利用者をピークシフトに自然と誘導するシステムの開発。 ●施設利用者のピークシフトによる、スタッフ配置の最適化や経費削減。 ●隠れた観光スポットの発掘と人流誘導	屋内位置測定	歩行者ナビゲーション	人流誘導
情-62	鈴木 亮太 助教	埼玉	●カメラやLiDAR で環境および人の行動を計測する技術を保有している。 ●AI (深層学習モデル) の構築技術を保有している。 ● AI がユーザとコミュニケーションするためのロボット・VR 技術を保有している。 ● AI の実応用における問題解決に関するノウハウを保有している。	ロボット	AI	コミュニケーション
情-63	松田 哲直 准教授	埼玉	●各種通信システムに対する既知の理論限界やその解析方法についての助言 ●新しい通信方法の提案 ●通信システムを開発する際の指標として理論限界を活用 ●より効率的な通信方法の開発	情報通信	情報理論	通信システム
情-64	原田 智広 准教授	埼玉	●最適化対象に応じた進化計算アルゴリズムの適用方法を提案 ●最適化の応用立案から実施まで一貫してサポート可能 ●産業界の最適化コンペティションで多数の受賞実績 ●多目的最適化や制約付き最適化に対応した高度な技術を保有 ●ハイブリッドロケットエンジン設計の最適化 ●交通シミュレータを使用した信号制御スケジューリング	進化計算	人工知能	多目的最適化
情-65	渡部 康平 准教授	埼玉	●複雑に関連し合ったデータに対してDX のデータ活用が提案可能 ●通信の専門家でもありIoT など通信を使ったソリューションにも精通 ●汎用なネットワークデータに対して条件を指定してデータ生成する技術の開発 ● SNS データからのインフルエンサー特定技術の開発 ●セキュリティ防壁を通過する攻撃的通信を生成するシステムの開発 ● LLM を利用したネットワーク侵入検知システムの開発 ● AI 技術を活用した無線通信品質の予測技術の開発	通信ネットワーク	生成AI	DX
情-66	平松 薫 教授	埼玉	●企業における実務経験と大学・大学院における教育経験に基づき、データサイエンスに関する研究開発、技術者・研究者の育成に取り組んでいます。 ●既存データの活用に関する各種相談を受け付けています。 ●オープンソースソフトウェアを利用したデータ分析環境の構築 ● OCR を利用した紙資料の電子化と既存データと紐づけ・名寄せの実施 ●地理的データの集計単位(地域メッシュ、行政界等)の高速変換	データサイエンス	探索的データ分析	機械学習
情-67	萬年 智介 准教授	宇都宮	●パワーエレクトロニクス(電力変換技術) ・半導体を用いた電力変換回路とその制御技術、次世代半導体の性能最大化に関する研究 ・電力回路の構成、ゲート駆動法、ノイズ対策、周辺部品の設計などを統合的に研究、システム全体の最適化 ・電気機器の「高効率化」「小型軽量化」「長寿命化」を目的とした電力変換回路の研究	電力変換回路・制御技術	直流給電・直流電流	パワー半導体デバイス
情-68	樋口 政和 准教授	宇都宮	●情報科学分野 ・疾患に伴う声の微細な変化を検出し、病態を可視化する研究 ・感情を介さず音声特徴量を直接的に機械学習で統合することで、うつ病に加え、認知症やパーキンソン病などの予兆を捉える研究 ・超高齢社会において「未病」への関心が高まる中、音声による病態の早期発見・早期対応は、患者のQoL維持や医療費削減に貢献	音声感情認識	ボイスバイオマーカー	生体医工学
情-69	何 元元 助教	宇都宮	●色彩・視覚工学 感性情報学 心理物理学 ・視覚による布地の質感認識の研究 ・人間の感覚や知覚、認知システムをベースに、「色」や「肌の質感」が人間に与える印象を科学的に解き明かす研究 ・人間がモノを見たときに感じる「色の見え方」や「感性評価」を測定・数値化	色彩・視覚工学	感性情報学	心理物理学
情-70	全 香玉 助教	宇都宮	●光工学や生体イメージング ・デジタルホログラフィ技術を使った光波面計測および波面形成 ・マルチモーダルイメージングや2光子顕微鏡の開発 ・マルチモードファイバーを活用した時空間制御による、生体深部のイメージング技術	デジタルホログラフィ	生体イメージング	生体深部イメージング
情-71	北本 拓磨 助教	宇都宮	●感性情報工学・感性工学 ・香りの抗ストレス・生理的効果の解明と応用、人間の感覚(感性)を情報工学的手法で定量化・モデル化 ・情報工学のハードウェア・ソフトウェア両面における、システムの最適化や高速化技術の追求	感性情報工学	感性工学	香気成分分析

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
環-1	藤野 毅 教授	埼玉	水環境工学・生物環境科学・応用生態工学 最近は見沼グリーンカーボン事業として、モリンガ栽培によるCO2吸収と固定に取り組む その他の主なテーマ:電気分解法による水質改善/PCR法による遺伝子解析/炭化物の利活用法の探索/熱中症搬送者予測解析	水環境保全	物質循環	微気象
環-2	稲垣照美 教授	茨城	熱工学、赤外線工学、環境工学	熱	流体	赤外線
環-3	北和之 教授	茨城	大気環境計測 大気リモートセンシング	オゾン	エアロゾル	窒素酸化物
環-4	粕谷健一 教授	群馬	微生物を用いるコンポスト・排水処理、生分解性プラスチック、バイオマス(茶粕、コーヒー殻など)の資源化、ポリ乳酸、バイオトイレ、機能性食品の開発	生分解プラスチック	コンポスト	汚水浄化
環-5	伊藤 司 准教授	群馬	微生物の制御と活性化 上下水道 微細気泡による効率的ガス供給	微生物	水処理	微細気泡
環-6	小松崎将一 教授	茨城	土壌保全 有機農産物 福祉分野	有機農業	自然農法	園芸療法
環-7	大橋朗 教授	茨城	溶媒抽出 分析化学 レアメタル回収	超臨界二酸化炭素	抽出分離	レアメタル
環-8	田中伸厚 教授	茨城	高速流 キャビテーション 複雑流れ 流体連成事象	流体解析	混相流	CG
環-9	田村誠 教授	茨城	気候変動の社会・経済的影響	サステナビリティ	気候変動	適応策
環-10	横木裕宗 教授	茨城	海岸侵食対策, 水質浄化技術, 気候変動への適応策	海岸地形変化	水質浄化	サンゴ礁海岸
環-11	成澤才彦 教授	茨城	苗生産、環境修復、微生物利用	土壌微生物	エンドファイト	有機栽培
環-12	渡邊智秀 教授	群馬	排水処理、上下水道、水環境保全技術、水質浄化、 廃棄物処理・処分、有用資源分離・回収	微生物燃料電池	微生物機能	水質変換
環-13	川合真紀 教授	埼玉	生物(特に植物)の環境応答の分子機構とバイオテクノロジーを用いた環境ストレス耐性 植物の分子育種、植物物質生産代謝	植物分子生物学	メタボローム解析	遺伝子組換え
環-14	橘 熊野 教授	群馬	有機合成、高分子合成、高分子物性評価、成形加工、リサイクル、法規制・規格	非可食バイオマス	バイオベース材料	高分子合成
環-15	秦野賢一 助教	群馬	試料中の微量元素分析 植物修復 汚水の脱色処理 蛋白質の精製・構造解析	地域環境	循環型社会システム	汚染除去・修復技術
環-16	板橋英之 教授	群馬	環境からの重金属の除去技術、環境中の微量元素の分析技術、金属元素の相互分離技術	重金属	有害有機物質	環境浄化
環-17	桂 進司 教授	群馬	静電気応用工学、PCR増幅、微量検出	マイクロ反応	μ TAS	1分子操作
環-18	佐藤達雄 教授	茨城	作物栽培技術、栽培システム開発	農作物	高温耐性	植物免疫
環-19	横尾 昇剛 教授	宇都宮	・地域の熱エネルギー資源を活用したまちづくり ・カーボンニュートラル建築都市 ・木造木質化とライフサイクルCO2	脱炭素・カーボンニュートラル	熱利用	環境性能評価
環-20	岩井 秀和 助教	宇都宮	・プラズモン励起を利用した光触媒反応の制御 ・分子構造・電子構造に関する測定・シミュレーション ・ヒトの自律的行動における内発的動機付け	光触媒	有機物自己組織化構造	表面科学
環-21	荷方 稔之 助教	宇都宮	・バクテリアの走化性を利用した化学物質のセンシングシステムの開発 ・植物病原細菌の感染における走化性の役割と感染防除に関する研究 ・多剤耐性日和見感染細菌の新規制御技術の開発	微生物	細菌	バイオテクノロジー
環-22	大澤 和敏 教授	宇都宮	・沖縄における赤土流出問題に関する研究 ・放射性物質で汚染された地域の復興に関する研究 ・熱帯泥炭湿地の保全と温室効果ガスの放出抑制	自然環境に関する 野外モニタリング技術	室内実験(降雨実験など)	物質循環の数値シミュレーション
環-23	平井 英明 教授	宇都宮	・未利用資源の資源化処理とその育苗培土への活用 ・未利用資源の作物栽培への活用に関する研究 ・SDGs時代における体験型土壌教育プログラムパッケージの開発に関する研究	土壌の生成	水田・森林土壌	未利用有機物の利活用
環-24	石川寿樹 准教授	埼玉	・遊離型セラミドを植物細胞内で安定生産できれば、これまでの植物セラミド(糖セラミド)に替わる次世代のセラミド供給源になります。 ・植物型セラミド構造を形成する代謝酵素をゲノム編集技術で改変することにより、任意のセラミド構造タイプを選択的に合成することができます。 ・ヒト型、植物型、その他天然セラミドを、高精度に分析する技術を有しています。	セラミド	スフィンゴ脂質	代謝工学
環-25	窪田 恵一 助教	群馬	細胞外へ電子を直接放出可能な“発電微生物”を利用した生物電気化学手法を応用して、発電可能な有機性廃水処理技術や底質などの水環境改善技術のほか、廃水処理と同時に有用物質の生産や分離・回収が可能な革新的水環境技術の開発に挑戦しています。	用水/廃水処理	水環境保全	生物電気化学技術
環-26	坂上伸生 准教授	茨城	土壌の一般理化学性, 土壌の持続的利用, 物質循環, 土壌有機物動態,	土壌の機能	土壌環境	土壌の風化・生成

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
エ-1	西原 宏史 教授	茨城	水素酸化細菌の利用 ヒドロゲナーゼの解析と利用	水素酸化細菌	水素酸化酵素(ヒドロゲナーゼ)	水素利用
エ-2	石間 経章 教授	群馬	流れの計測手法の開発と評価, 流れの可視化, 温度場の観察と計測および評価, 熱・物質移動評価	レーザ応用計測	可視化	流体運動
エ-3	田中 正志 准教授	茨城	固体酸化物形燃料電池発電システムのシミュレーション、リチウムイオン二次電池の電圧過渡応答	固体酸化物形燃料電池(SOFC)	リチウムイオン二次電池	コジェネレーションシステム
エ-4	野田 玲治 准教授	群馬	・バイオマスのガス化技術開発・廃棄物のエネルギー／資源化技術開発・アンモニア燃料電池開発	ガス化	液化	流動層
エ-5	古畑 朋彦 教授	群馬	カーボンニュートラル, カーボンフリーな燃焼システムの開発・評価, バイオマス燃料やアンモニアの燃焼, 排ガスの後処理, 水素製造できるガスタービン開発研究	燃焼関連技術	熱・流体・伝熱	排ガス後処理
エ-6	コンサレス ファン 准教授	群馬	エネルギー, 経済及び環境面(3E)での新技術のアセスメント, エネルギー管理, エネルギー経済モデル	電気自動車	燃料電池自動車	軽量化自動車
エ-7	櫻井 浩 教授	群馬	X線計測・評価技術	X線計測	医用工学	Liイオン電池
エ-8	中川紳好 教授	群馬	電極関連材料の評価 多孔質構造解析	電気化学デバイス	電極触媒	多孔質構造
エ-9	天谷賢児 教授	群馬	噴霧・微粒化技術、マクロバブル、レーザー計測、分光法による熱流体計測、次世代モビリティ	噴霧・微粒化	マイクロバブル	次世代モビリティ
エ-10	山納 康 教授	埼玉	放電の発生によってお困りの方、特に真空中での絶縁方法や放電抑止法について相談にのります。各種の高電圧試験や絶縁性能を調べる試験、ヒューズ等の大電流の遮断試験の相談も受け付けます。本学には、高電圧・大電流の試験設備およびその専用試験室があります。AC・DC・インパルス高電圧試験システム(最大発生電圧は、AC:100kVrms, DC:200kV, 雷インパルス電圧:1000kV)が設置されており、各種高電圧試験を行うことが可能です。LC共振型大電流発生装置(低圧600Vまで100kArms, 高圧7200Vまで40kArms)により遮断試験を行うことができます。	高電圧、大電流	放電	真空、ヒューズ
エ-11	森本英行 教授	群馬	固体電解質の作製、電極材料の作製、電池材料の設計技術、電気化学特性の評価技術	電気化学エネルギーデバイス	蓄電池	全固体電池
エ-12	高橋俊樹 教授	群馬	プラズマ磁気閉じ込め技術、プラズマシミュレーション技術、熱核融合技術	核融合	プラズマ	電磁流体力学
エ-13	佐藤剛史 教授	宇都宮	・水熱反応を利用したバイオマス・重質油・廃棄物からの化学原料回収、二酸化炭素を利用した天然資源からの有用物質の抽出 ・高圧流体中での各種処理(合成反応、分解、ガス化、水素化、表面処理) ・水電解を利用した水素製造や水素化反応	水素製造	高圧処理	水熱処理
エ-14	古澤 毅 教授	宇都宮	・アンモニア低温分解用膜反応器の開発 ・CO2メタン化反応用膜反応器の設計・開発 ・触媒内包カプセル型リアクターを用いた各種液相反応	CO2資源化	再生可能エネルギー	水素エネルギーキャリア
エ-15	有賀 一広 教授	宇都宮	・木質資源の収穫技術 ・木質バイオマスのエネルギー利用 ・路網と作業システム・生産性とコスト分析	森林バイオマス収穫機械・システム	森林バイオマスサプライチェーン	路網配置
エ-16	川島 久宜 准教授	群馬	液体中の気泡の運動には蒸発・凝縮、ガスの析出・溶解が生じます。機械加工で発生する熱も加工物に影響を与えるため除熱方法を考える必要があります。さまざまな場面で見られる熱・物質輸送の影響を調べています。	気泡	熱・物質輸送	可視化
エ-17	藤木 淳平 准教授	群馬	脱炭素・循環型社会の実現に向け、排ガスや大気からの省エネ型CO2分離回収技術や、低温排熱有効利用技術に関連する研究を主として、材料開発から現象解析、プロセス検討まで幅広く研究に取り組んでいます。	多孔質材料	吸着	分離
エ-18	座間 淑夫 准教授	群馬	カーボンニュートラル社会の実現に向け、自動車用内燃機関ではバイオ燃料やCO2とグリーンH2から作られるe-fuelが着目されています。それらの液体燃料の微粒化現象と混合気形成メカニズムの解明を目指しています。	燃料噴霧	光学計測	モデルベース開発

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ナ-1	塩田達俊 准教授	埼玉	表面形状や断面を非接触で高速検査できる光検査装置。取得した画像から構造毎の組成(スペクトル:色情報)を推定することもできる。特許出願済みである。	表面形状検査	インライン全数検査	振動ロバスト性
ナ-2	尾崎純一 教授	群馬	電気化学測定、表面分析、触媒活性評価	炭素化反応	表面分析	構造解析
ナ-3	本多善太郎 教授	埼玉	磁性体を中心とした物質工学分野	磁性	超伝導	有機無機複合材料
ナ-4	小林芳男 教授	茨城	電子材料 医療検査	微粒子	分散-凝集	コア-シェル
ナ-5	岩本伸司 准教授	群馬	固体触媒、ナノ粒子合成、機能性金属酸化物合成、排ガス浄化触媒、光触媒、多孔性材料合成	固体触媒	金属酸化物ナノ結晶	光触媒
ナ-6	長谷川靖洋 准教授	埼玉	熱電変換開発・システム設計、半導体測定に関する物性	ゼーベック効果	ペルチェ効果	直接発電
ナ-7	石丸雄大 准教授	埼玉	機能用途に適した機能性色素の分子設計および合成スキル。科学分析支援センターを核にし、迅速な化合物の構造解析および物性評価。有機溶媒系から水までの分離精製技術。水系での化合物安定化を目指したテララーメード分子フラスコ(薬剤やコエンザイムQ10等)特許も多数出願実績があり。	機能性色素	フラーレン	有機薄膜半導体デバイス
ナ-8	篠嶋 妥 教授	茨城	材料挙動予測のための計算機実験技法	計算機実験	分子動力学法	フェーズフィールド法
ナ-9	鈴木徹也 教授	茨城	塑性加工、組織解析、残留応力の測定	耐酸化性	コーティング	残留応力
ナ-10	清水淳 教授	茨城	ナノ・マイクロ加工、トライボロジー、分子動力学シミュレーション	切削	研削	陽極酸化
ナ-11	上原宏樹 教授	群馬	高分子材料の成形加工や高性能化、高機能化について、多くの企業との共同研究を実施し、基盤技術の知財化や事業化に向けた技術支援を行ってきました。また、共同研究を通じた若手技術者の育成、社会人Drの育成など中堅技術者のリカレント教育も担当してきました。組織面では、重点支援Sメンブレン・プロジェクトの一環としての産学連携交流会の開催など、教員・学生と企業との橋渡しの取り組みを行ってきました。	高分子	延伸成形	膜
ナ-12	曾根逸人 教授	群馬	電子顕微鏡による表面形状計測、プローブ顕微鏡による表面形状・物性計測、電子線及び集束イオンビームを用いたナノ加工、半導体プロセス、超高感度バイオセンサ	ナノスケール計測加工	各種顕微鏡	医用工学
ナ-13	三浦 勝清 教授	埼玉	精密有機合成 有機ケイ素化合物の合成	有機合成反応	有機ケイ素反応剤	白金触媒
ナ-14	柿崎浩一 教授	埼玉	●薄膜化プロセス ●金属-ポリマー複合薄膜材料 ●薄膜磁性材料の特性評価	磁性薄膜デバイス	ナノ構造制御	スパッタリング法
ナ-15	鶴殿治彦 教授	茨城	バルク結晶成長、半導体薄膜成長、熱電変換、太陽電池、光デバイス	シリサイド半導体	熱電素子・材料	熱光発電
ナ-16	山路 稔 准教授	群馬	光・放射線が関わる化学反応全般	個体発光	紫外・可視光線	有機超伝導
ナ-17	白石壮志 教授	群馬	キャパシタ 電池 炭素材料 ナノ細孔体 金属ナノ粒子 イオン液体	電気二重層キャパシタ	炭素材料	新規炭素同素体
ナ-18	三浦健太 教授	群馬	光エレクトロニクス スパッタリング法による薄膜形成及び光学特性の評価	金属酸化物	希土類	スパッタリング
ナ-19	若狭 雅信 教授	埼玉	反応中間体および反応機構の解明、強磁場利用、光反応、磁気共鳴	光化学	スピノ化学	磁気科学
ナ-20	斎藤 雅一 教授	埼玉	周期表にあらゆる元素を巧みに操り、どんなに不安定であっても、新しい化合物を合成・精製・単離する技術をもっている。合成する化合物の全てが新規物質なので、秘めている物性もまた新規であることが期待できる。新規物性開拓という観点から手詰まり感がある分野に対して、新規物質によるブレイクスルーをもたらすことができる。	多価イオン材料	遷移金属錯体	触媒
ナ-21	長澤 壮之 教授	埼玉	DNA結び目の形態・赤血球膜の形態変換、及びその時間発展の数学モデル	幾何学的変分問題	エネルギー	安定性・不安定性
ナ-22	藤原隆司 准教授	埼玉	金属イオンが関連した分野。色変化(発光色、光吸収)を元にした分野。物質の結晶構造解明。国内有名企業・自治体との共同研究・受託研究実績有り。各種分析機器を用いた技術相談可能	金属	金属錯体	分子構造
ナ-23	中村洋介 教授	群馬	有機合成、有機構造解析、有機化合物の分子設計	有機構造化学	機能物質科学	光物性
ナ-24	尾崎俊二 教授	群馬	半導体光物性測定技術 化合物半導体電子物性	多元化合物半導体	半導体ナノ結晶	光学物性評価
ナ-25	太刀川達也 講師	埼玉	必要な線量域(1Gy程度～1kGy以上)に応じた発色を示す種々のカラーフォーマーの合成が可能。ガンマ線のみならず、重粒子線、紫外線、X線、電子線などでも発色が可能。有機溶媒、オルガノゲルのみならず、水溶液、ヒドロゲルでの発色材料を開発している。特許の出願も行っている。	放射線	可視化	色素線量計
ナ-26	柳瀬郁夫 准教授	埼玉	・安価な元素のみからなる二酸化炭素吸収材料 ・広範囲濃度条件下における、優れた二酸化炭素分離回収能力 ・特開2016-3156(α-ナトリウムフェライト類の製造方法)	二酸化炭素分離回収	二酸化炭素濃度制御	二酸化炭素有効利用
ナ-27	小玉康一 准教授	埼玉	必要な工程を大幅に削減できます。溶媒や化合物の使用量を減らすことができます。大スケールでも安価に合成できます。 ・関連特許を出願しています。	光学分割	有機合成化学	不斉化学
ナ-28	土方泰斗 准教授	埼玉	独自のSiC酸化モデルを考案し、MOS界面物性の予測が可能となりました。光をプローブとして用いた非破壊・非侵襲のSiC半導体評価技術を考案しました。SiC半導体を用いた10メガレイ(グレイ≒シーベルト、従来型Si素子の100～1000倍)もの高い耐放射線性を有したスイッチング素子(MOSFET)を開発しました。SiC半導体中に単一光子欠陥を生成し、新しい量子効果デバイスを開発しています	SiC半導体	金属-酸化膜-半導体(MOS)接合デバイス	パワーデバイス
ナ-29	八木修平 准教授	埼玉	六方晶および立方晶窒化物(GaN, InN)ナノ構造の自己組織化形成技術を開発。希釈窒化物混晶半導体(GaAsN, InGaAsN)を用いた新規太陽電池材料の作製。微量添加元素のδドーピング技術を利用した高品質混晶半導体の作製技術を開発。各種半導体(ナローギャップ、ワイドギャップ)材料の電気的・光学的評価が可能。 ・特許出願実績あり	窒化物半導体	希釈窒化物半導体	量子ナノ構造
ナ-30	松岡圭介 准教授	埼玉	泡沫分離技術ではバブル発生1プロセス。泡沫分離後は濃縮された金属と界面活性剤のみを含む少量の破泡液のみ。インク等の有機物の除去も可能。小額費用。	泡沫分離	界面活性剤	汚染水浄化、セシウム除去
ナ-31	荏苒都夫 教授	群馬	金属マイクロ組織評価 電子実装材料および機械材料の機械的特性・信頼性評価	金属組織	接合接着	機械的特性
ナ-32	荻原仁志 教授	埼玉	アルコールを原料にした水素と付加価値物質の同時電解合成法を開発している。アルコールの電解に着目し、水素と同時にアルデヒド、エステル、カルボン酸など、化学工業で有用な酸化生成物を得ることが出来る。この分野はまだ未開拓であり、電気化学、触媒化学、反応工学を融合した新たな物質変換法である。	アルコール電解	触媒反応・電気化学	水素・機能性分子の合成
ナ-33	佐藤和好 教授	群馬	ナノ粒子合成技術、炭素材料の表面機能化技術、触媒機能評価	酸化物	炭素	ナノ結晶
ナ-34	小林竜也 助教	群馬	金属材料の機械的性質および微細組織評価、異種金属接合界面の合金層解析	機能性めっき	異種材料接合	半導体実装
ナ-35	浅川直紀 教授	群馬	高分子材料の誘電緩和、電気伝導度計測、固体NMR、ESR、ノイズ計測	有機半導体	生物模倣工学	磁気共鳴
ナ-36	矢口裕之 教授	埼玉	分光エリブゾメトリによる材料開発の支援 発光分析による材料開発の支援	窒化物半導体	SiC	分光エリブゾメトリ
ナ-37	森川敦司 教授	茨城	有機合成技術 縮合系高分子合成技術 ゴルーゲル法による有機-無機複合体の作製技術	ポリイミド	重縮合	ゴルーゲル法
ナ-38	菅野研一郎 准教授	群馬	ヒドロシリル化反応など遷移金属触媒を用いた有機有機合成反応、および有機ケイ素化合物の合成、構造、物性評価	有機合成	有機ケイ素	遷移金属触媒
ナ-39	畠山義清 准教授	群馬	小角X線散乱によるナノ粒子・多孔体分析、X線吸収分光による含金属材料の分析、放射光オベラント測定	多孔性炭素材料	金属ナノ粒子	オベラント構造解析
ナ-40	田中有弥 准教授	群馬	有機半導体材料、有機エレクトロニクス、環境発電、エネルギーハーベスティング	有機エレクトロニクス	環境発電	有機半導体
ナ-41	武田亘弘 准教授	群馬	・有機化合物(特に高周期14-16族元素を含むもの)、有機金属化合物、遷移金属錯体の合成と構造決定 ・遷移金属錯体を用いた触媒反応の開発	有機元素化学	遷移金属錯体触媒	有機合成化学

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ナ-42	石川良 准教授	埼玉	ペロブスカイト太陽電池・塗布成膜手法・薄膜評価及び表面分析 自己組織化・自己偏析を活用した多層一括成膜技術により、太陽電池製造工程の短縮、低コスト化、大面積化に向けた研究を行っている	自己組織化	パッシベーション	アンチソルベントフリー
ナ-43	木下英典 准教授	埼玉	汎用試薬である水素化ジイソブチルアルミニウムの新たな反応性を明らかにし、これまででない合成反応を開発し、従来では合成できなかった化合物の効率的な合成を実現しました。	有機金属・遷移金属反応剤	水素化ジイソブチルアルミニウム	炭素-炭素／炭素-ヘテロ原子結合形成
ナ-44	飯村 兼一 教授	宇都宮	・分子膜を用いた自己組織化的手法による界面構造・物性制御と機能開拓 ・バイオインターフェースモデル膜を用いた界面活性物質の生体機能解明 ・ナノ粒子や固体材料の表面改質と分散化・機能化技術	固体・液体表面	ナノ粒子	界面構造・物性解析
ナ-45	石田 邦夫 教授	宇都宮	材料物性理論 ・半導体の光学応答 ・光照射による量子もつれ形成・制御 ・機械学習を用いた量子力学の問題の解法	量子物性	特異値分解	ベイズ推定
ナ-46	松本 太輝 准教授	宇都宮	無機合成化学、触媒化学 ・可視光応答型光触媒材料の創出・高度化 ・機能性光学薄膜の低温合成 ・貴金属を用いない新規燃料電池用カソード触媒の開発	光触媒	光機能性材料	金属酸化物
ナ-47	稲川有徳 准教授	宇都宮	分析化学 ・凍結水溶液を材料とした分離プラットフォームの構築 ・相分離を利用した新規分離分析法の開発 ・画像解析を用いた顕微分光法の開発	顕微分光	分離	界面
ナ-48	KIMYUNA(キム ユナ) 助教	宇都宮	材料化学 ・有機材料の電子・光機能性の研究 ・外部刺激応答性クロミック材料の開発 ・有機材料を用いた表示デバイス・センサの開発	フォトクロミズム、エレクトロクロミズム	液晶	発光スイッチング
ナ-49	伊藤 智志 准教授	宇都宮	・芳香族複素環化合物並びにその多量体に関する基礎研究 ・有機半導体材料、有機色素類、有機蛍光材料の新規合成 ・がん治療用光増感剤の開発 ・水溶性を持つ機能性有機材料の開発	芳香族複素環化合物	有機半導体	有機金属錯体
ナ-50	上原 伸夫 教授	宇都宮	・計測機能を持つ物質の開発とそれをキーマテリアルとする高性能分析法の開発 ・鉄鋼および鉄鋼関連材料の分析	熱応答性高分子	金ナノ粒子	キレート官能基
ナ-51	刈込 道徳 准教授	宇都宮	・らせん不斉を持つヘリセン類似化合物の不斉合成および光学分割 ・ヘテロ環化合物の新規合成反応の開発	有機合成	複素環化学	芳香族化学
ナ-52	佐藤 正秀 教授	宇都宮	・金属、金属酸化物ナノ材料やグラフェンなどの炭素系ナノ材料の合成 ・粉体表面改質による高分散ナノインク・ナノ流体の合成と応用 ・材料表面改質によるぬれ性制御や伝熱促進・界面熱抵抗低減	金属ナノワイヤ	マイクロ波合成	グラフェン
ナ-53	爲末 真吾 准教授	宇都宮	高分子化学、超分子化学、材料科学 ・超分子的相互作用を高分子に導入した材料作り ・有機無機複合材料の開発 ・刺激応答性材料の開発	超分子化学	材料化学	ソフトマテリアル
ナ-54	手塚 慶太郎 教授	宇都宮	無機個体化学 ・新規無機化合物の創製 ・ナノソートの合成 ・赤色蛍光体の開発 ・磁性光触媒の開発	酸化物	硫化物	酸窒化物
ナ-55	山本 篤史郎 准教授	宇都宮	・構造材料の高度化 ・機能材料の高度化 ・新素材開発・利用促進	材料組織	非平衡材料	材料評価
ナ-56	坂根駿也 助教	茨城	熱電変換 薄膜成長 電気特性評価、結晶構造評価 ナノドット	熱電変換材料	エピタキシャル薄膜	ナノ構造
ナ-57	山口 祥一 教授	埼玉	●液体や固体の表面・界面のユニークな分光分析 ●ヘテロダイン検出と周波発生分光の世界で最も優れた方法を独自開発 ●界面活性剤水溶液のミクロな描像の確立 ●プラズマ処理した表面の機能の由来の研究	表面	非線形光学	和周波発生
ナ-58	上野 啓司 教授	埼玉	●現在のシリコン素子を凌駕する極薄FET 素子の実現可能性がある。 ●40 年近い層状物質研究歴を有している。 ●国内では数少ない、カルコゲナイド系層状物質バルク単結晶合成研究を実施。 ●多種多様な層状物質バルク単結晶、単結晶超薄膜を作製可能。 ●作製した試料のX 線回折、X 線光電子分光、ラマン分光による評価が可能。 ●層状物質原子層FET のガスセンサー応用。 ●層状物質原子層の応用による太陽電池素子の高効率化。 ●新奇物性を示す層状物質の探索、合成。	層状物質	FET	ガスセンサー
ナ-59	長嶋 安樹 助教	埼玉	●光で生じた反応中間体の観測(酵素反応・太陽電池・触媒など) ●ラジカルの検出と定量、分子構造解明 ●広範なタンパク質複合体の距離計測と構造解明 ●生体中での磁場の利用	光化学	磁性	電子スピン共鳴
ナ-60	松岡 聡 准教授	埼玉	●枯草菌による有用物質の発酵生産 ●微生物(細菌)の分離・同定 ●枯草菌を用いたセルラーゼの分泌生産 ●微生物(細菌)による有用物質生産 ●微生物(細菌)を使った環境浄化にも応用可能	微生物利用	発酵生産	微生物環境浄化
ナ-61	井上 雅博 准教授	群馬	電子デバイスの進歩を支える実装材料技術の研究に取り組んでいます。特に柔軟で高い電気伝導および熱伝導特性を有する接合材料を設計し、電子デバイスの高機能化と実装工程の革新に挑んでいます。	導電性ペースト	熱伝導性接着剤	電子実装技術
ナ-62	石井 孝文 准教授	群馬	炭素材料の分子レベルでの理解を深め、エネルギー化学分野への応用を目指しています。特に、炭素のエッジサイト分析技術を駆使し、新規材料開発に貢献しています。環境調和型材料の創製を通じて、持続可能な社会の実現に寄与します。	炭素材料	エネルギー化学	無機材料化学
ナ-63	攪上 将規 准教授	群馬	高分子の特徴を活かした成形加工(延伸・紡糸)プロセスを追求することで、環境に優しい手法(グリーンプロセッシング)で優れた性能・機能をもつ高分子材料、繊維材料、およびセラミックスの創製を行っています。	高分子材料	セラミックス	グリーンプロセス
ナ-64	山内 紀子 准教授	茨城	微粒子・ナノ粒子の液相合成、コロイド、ポリマー粒子、磁性粒子、金ナノ粒子、シリカ粒子、無機・有機ハイブリッド粒子、表面改質、シランカップリング剤、界面活性剤、糖鎖固定化粒子、タンパク質・ウイルス検出用粒子、抗菌粒子、ナノ粒子の医療応用	微粒子・ナノ粒子	表面改質	複合粒子
ナ-65	藤原 翔 准教授	埼玉	CO2資源化や水素化反応を核に、燃焼場を利用した触媒合成・気相プロセスを開発しています。高効率触媒と反応プロセス設計により、脱炭素燃料・化学品製造や排ガス利用の高付加価値化に貢献可能です。	燃焼合成プロセス	触媒・水素化反応	燃焼合成プロセス

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ナ-66	古川 俊輔 助教	埼玉	有機分子設計により電荷輸送特性や光機能を制御し、有機半導体や分子デバイス材料を創製しています。ナノスケールでの電子特性設計により、次世代エレクトロニクス・エネルギー材料開発に貢献可能です。	有機半導体	有機合成化学	分子デバイス・有機エレクトロニクス

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
社-1	川本 健 教授	埼玉	土壌内の移流・分散パラメータ測定技術、土壌・地下水内の汚染物質挙動解析技術	土壌・地下水汚染	環境保全	物質移動
社-2	谷山 尚准 教授	埼玉	粒状体解析、断層変位対策	粒状体	地震断層	
社-3	加藤敏弘 教授	茨城	自覚・自立を促すコーチング、チームづくり・組織づくりのための活動プログラム開発	ナレッジマネジメント	コーチング	バスケットボール
社-4	小澤満津雄 教授	群馬	コンクリートのひび割れ、耐火性、耐久性、リサイクル、維持管理	コンクリート	火害	爆裂
社-5	長嶺拓夫 教授	埼玉	振動の発生メカニズムの中にはその原因を特定し難いものがあります。よく分からない現象でお困りの方、解明しますのでご相談ください。振動発電の研究を始めました。様々な用途に適用可能ですので、ご興味のある方お声かけください。	機械振動	防振、防音	振動発電
社-6	小嶋 文 准教授	埼玉	歩行者に意見を聞くためにわずらわせることがない。対象者を無作為抽出できるようにした。笑顔の数値化した情報がデジタルデータとして蓄積していくため、処理が容易。適切な周知の上、防犯カメラと組み合わせた活用が期待される。笑顔度のデータ自体の個人情報のない情報として扱える	歩行空間評価	交通安全	表情センサー
社-7	党紀 准教授	埼玉	簡易で取り扱いやすい、高層ビルも、高架橋にも応用できる。初期コストと維持コスト共に極めて低い、人工知能による損傷検出のため人件費や橋梁の専門家ではなくとも業務を展開できる。リアルタイムでシステムの状況をスマートフォンでも確認できる。(開発中) 人工知能を活用して、使えば使うほど、構造物の損傷推定精度が上がる。	地震工学	橋梁耐震	免震制震
社-8	松本泰尚 教授	埼玉	環境振動の諸問題の予測から測定、分析、評価、制御に至るまでトータルに関わる研究を行っています。人体振動用に設計、製作された振動試験機による実験、知見の蓄積に基づく環境振動問題の適切な分析。人の感覚評価を考慮した効率的な環境振動制御	環境振動	居住性能	振動感覚
社-9	齊藤正人 教授	埼玉	倒壊方向をコントロールするためのデバイス「ワンウェイガイダー」を提案。この新技術は、埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センターと鉄道総合技術研究所の共同研究の成果。地震によって損傷が集中する箇所(塑性ヒンジ部)の一方向に、ワイヤーやブロックを設けることで、倒壊方向を制御。鉄道構造物に関しては、解析と実験による検証を実施。住宅に関しては、ねじれ倒壊を含めた新機構を開発中	地震対策	倒壊制御	レジリエント構造
社-10	宇田川元一 教授	埼玉	コラボレイティブな組織づくり。思考と行動のギャップを埋める。組織を創造的に変える。職場の関係性を良好にする	経営戦略	組織変革	イノベーション
社-11	野村泰朗 准教授	埼玉	教育理論や人間の特性に根ざした教育的要素を含むシステム開発。統計モデルにだけ頼るのではなく説明モデルにもとづく人工知能技術の実用化。技術的要素だけでなく明確な教育的意義を備えた教育用教材開発。3Dプリンタを用いたプロトタイピング手法による開発。ロボットや組み込みシステムをネットワークするIoTサービスの構築	学習支援システム	授業設計訓練システム	コミュニケーション支援ロボット
社-12	石上城行 教授	埼玉	多様なアートプロジェクトの展開による新しい文化的価値の創造	アートプロジェクト	ワークショップ	パブリックアート
社-13	荒木祐二 教授	埼玉	国内外の森林や湿地などのフィールドに赴き、植物社会学手法による植生調査ならびに環境傾度測定を実施し、環境アセスメントは勿論のこと、植物資源量とその消費量を定量的に評価することで、持続的な植物資源利用をめざした環境マネジメントを考案する研究に動んでいます。	生態系	保全	環境マネジメント
社-14	若井明彦 教授	群馬	地すべりと対策工の数値解析、土砂災害の原因究明と予測、液状化対策の効果判定、石膏ボード廃材の再資源化、地中熱利用	地盤工学	地震工学	土砂災害
社-15	有賀健高 教授	埼玉	環境・資源問題の解決のための有効な経済政策の提案。エネルギー、農林水産物資源の有効利用に向けた経済政策の提案。市町村、県、国レベルでの農林水産物資源市場の効率化に関する提案。住民や消費者を対象としたアンケート調査と分析。市場データの計量分析	環境経済学	資源経済学	エネルギー経済学
社-16	井原 基 教授	埼玉	アジアに特化したマーケティング戦略の研究調査。日本企業だけでなくアジアの現地企業や欧米系企業のマーケティング戦略、特に流通チャネル戦略について深いレベルの知識を有する。東南アジア(特にタイ、インドネシア、ベトナム)の市場状況に知悉	海外進出	マーケティング	流通チャネル戦略
社-17	内田奈芳美 教授	埼玉	協働の手法を考える。合意形成の手法を考える	まちづくり		
社-18	李 潔(リー チュー) 教授	埼玉	研究単著として、以下のものを出版した:『産業連関構造の 日中・日韓国際比較と購買力平価』大学教育出版社 2005『入門 GDP 統計と経済波及効果分析』大学教育出版社 2016『China's GDP statistics - Comparison with Japan: Estimation Methods and Relevant Statistics』Germany: Scholars' Press 2016(本書は 2017 年度経済統計学会賞を受賞した。この賞は、社会科学としての統計学の理論と応用にたいし特に大きく寄与した著書・論文を著したものに授与されるものである。 http://www.saitama-u.ac.jp/topics_archives/2017-0913-0937-9.html	産業連関分析	経済波及効果分析	国民経済計算(GDP統計)
社-19	藥 堯 (ルアン ヤオ) 助教	埼玉	従来の表面含浸工法と比べ、内部撥水性を有するコンクリートはひび割れが発生しても水分、塩化物イオンなどの浸透抵抗性が低下しないこと。撥水材の混入によりコンクリートの細孔構造が改善され、自己収縮、乾燥収縮が普通のコンクリートと比べ低いこと。	コンクリート	セメント	耐久性
社-20	金井昌信 教授	群馬	地域防災計画、避難計画、防災教育	防災計画	避難行動	災害情報
社-21	岩崎 篤 教授	群馬	疲労、センシング、モニタリング、リスク評価、ICT、ビッグデータ、疲労	信頼性工学	異常検知	ベイズ統計
社-22	田中 規夫 教授	埼玉	充実した水理実験施設群(津波条件を含む造波装置4、水路実験設備3(可変勾配、広幅、平面)、風洞実験設備1)と実験設備(流れの可視化(PIV)設備、レーザドップラー流速計(LDV)設備、音響ドップラー流速系(ADV)設備、分力計他)、現地観測機器類。 河川氾濫解析に基づく減災型街づくりへの提言、河道管理に関する研究	減災	グリーンインフラ	流域治水
社-23	道辻洋平 教授	茨城	自動車交通(ITS分野)、鉄道車両のマルチボディ・シミュレーション、機構のモデル化と解析・制御	鉄道車両	ITS	ドライブレコーダ
社-24	湊淳 教授	茨城	測量、防災、通信	画像処理	生体情報	可視光通信
社-25	原田隆郎 教授	茨城	建設材料・部材の評価、廃棄物の有効利用、健全度診断、マネジメント	建設材料	材料評価	健全度診断
社-26	阪田 和哉 准教授	宇都宮	経済学、土木計画学、文理融合 ・公共事業の評価手法 ・文理複眼教育 ・戦略的インフラ整備のための評価手法開発	費用対効果	便益計測	利他的効用
社-27	藤本 郷史 准教授	宇都宮	建築モニタリング、構造物の維持管理・解体 ・非破壊に建築材料・部材の異常を検知する方法 ・既存建築物の適正な管理および解体 ・建築材料の環境負荷評価 ・住宅建築物の浸水被害軽減手法の開発	建築材料	センシング	モニタリング
社-28	藤原 紀沙 助教	宇都宮	建築環境学、環境建築 ・立地特性に対応した建築デザインと環境性能に関する研究 ・エリア内外のエネルギー・資源の活用方策に関する研究	環境建築	建築設計	シミュレーション

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
社-29	増田 浩志 教授	宇都宮	建築構造、鋼構造 ・アンカーボルトに着目した露出柱脚の力学性状 ・軽量H形鋼を用いた梁の座屈挙動 ・高力ボルト摩擦接合部のすべり挙動	鋼構造	接合要素・結合部	耐震補強
社-30	飯村 耕介 助教	宇都宮	海岸工学、植生水理、河川工学 ・津波遡上や河川洪水に関する水理実験・数値解析 ・海岸林や河道内植生の氾濫流への影響 ・流れによる堤防背後地の洗堀等の地形変化	河川	津波	防災・減災
社-31	池田 裕一 教授	宇都宮	河川工学 ・河川とその周辺の水の流れ、生態系など自然のしくみ ・災害対策、環境保全、まちづくりなど地域とのかかわり ・地球規模の気候変動が河川流域に与える影響 ・情報技術の活用（インターネット、地理情報システムなど）	河川災害	河川環境	河道内植生
社-32	海野 寿康 教授	宇都宮	土質工学、地盤工学 ・社会インフラにおける土／地盤の整備に関する研究 ・自然災害時の土／地盤の挙動に関する研究 ・災害に強い道路舗装に関する研究	地盤工学	土砂災害	液状化
社-33	大森 宣暁 教授	宇都宮	都市計画、交通計画 ・都市交通計画 ・人の活動・交通行動分析 ・バリアフリーのまちづくり	都市	交通	生活の質
社-34	長田 哲平 准教授	宇都宮	都市計画、交通計画 ・環境にやさしい交通システムの検討 ・超高齢社会に対応した交通と都市 ・安全・安心な社会のための物流	交通流シミュレーション	ビッグデータ	スマートシティ
社-35	近藤 伸也 准教授	宇都宮	防災マネジメント ・地域防災における現役世代の参加に向けた研究 ・防災/災害対応に関する演習/訓練の企画運営手法の構築 ・過去の災害における対応分析を踏まえた組織マネジメント手法の提案 ・中山間地域の持続性を考慮した防災マネジメント	防災マネジメント	防災訓練	防災教育
社-36	清木 隆文 准教授	宇都宮	岩盤工学、地下空間設計学 ・大谷石などの岩石の力学特性の把握 ・大谷の地下採石場などの岩盤構造物の安定性検討 ・地下空間の有効利用法の検討	大谷石	風化特性	岩盤構造物
社-37	原田 淳 教授	宇都宮	農村マネジメント ・農業経営を取り巻く組織の機能 ・農村振興に取り組む組織の運営 ・経営者の理念	農業/農業技術	農村	経営
社-38	THAY VISAL (タイ ウィサル) 助教	宇都宮	構造工学、維持管理工学 ・接着接合部のクリーブ特性に関する研究 ・接着接合部の静的強度・疲労耐久性の評価に関する研究 ・炭素繊維強化プラスチック (CFRP) 接着による鋼構造物の補修・補強に関する研究	接着接合	接着破壊基準	接着はく離
社-39	藤倉 修一 教授	宇都宮	構造工学、地震防災工学 ・高い耐震性能を有する構造の開発 ・鋼コンクリート複合構造の新しい構造形式の開発 ・免震制震構造の動的応答特性の解明	橋梁	地震工学	構造工学
社-40	山岡 暁 教授	宇都宮	土木工学、プロジェクトマネジメント ・社会環境変化に対応した上下水道システムの構築 ・社会資本整備に民間活力を用いるための手法 ・国内外における再生可能エネルギーの開発普及	プロジェクトマネジメント	上下水道システム	民間活力によるインフラ整備
社-41	酒井 佑一 助教	宇都宮	砂防工学 ・水路実験に基づく土石流の流動機構解明 ・土石流の数値シミュレーションモデルの開発	土石流	土砂災害	数値シミュレーション
社-42	田村 孝浩 教授	宇都宮	農村計画、農業土木 ・農作業の安全性を高める農地整備手法の解明と普及 ・田んぼまわりの維持管理作業を楽しく行うための方法論づくり ・お煎餅の開発を通じた農村と都市の活性化	農作業安全	土地改良事業	米の6次産業化
社-43	松英 恵吾 准教授	宇都宮	森林計測、森林計画、森林評価 ・森林域の適正空間配置と適正利用に関する研究 ・GISやリモートセンシングを用いた森林空間情報解析に関する研究 (スマート林業への応用) ・森林管理/森林経営支援システムの開発と応用	森林モニタリング	森林の成長予測	森林の多面的機能評価
社-44	山本 美穂 教授	宇都宮	森林政策、流域管理、農林業史 ・人工林の再生産と農山村の定住条件 ・流域林業史 ・森林・林業・林産業構造論 ・欧州 (仏国) 森林管理制度	森林開発の史的展開	人工林管理と農山村社会の発展	農山村女性への応援歌
社-45	松井宏之 教授	宇都宮	水利環境工学 ・農業用水を中心とした流域水循環 ・物質循環に関する研究 ・蒸発散量推定精度向上のための有効長波放射量推定式に関する研究 ・農業用水の管理/利用に関する研究	水農業水利	分布型流出モデル	水利組織
社-46	遠藤 康一 講師	宇都宮	建築意匠、建築設計 ・建築と都市の空間構成に関する研究 ・建築と周辺環境の関係性に関する研究 ・地域の営みとの関係性に着目した空間組成に関する研究	建築設計	建築意匠	空間構成
社-47	小川真如 助教	宇都宮	農業経済学 ・循環型食農システムに関する研究 ・農業再生協議会に関する研究 ・都市農業、都市農地に関する研究	水田農業	畑作農業	農業観・農地観
社-48	SCHRAGER BENJAMIN (シュレーガ ベンジャミン) 助教	宇都宮	農業経済学 ・国際農業経済・経営 ・技術革新がフードシステムや人間の健康、環境に及ぼす影響 ・食の生産や加工、流通、消費	オルタナティブフーズシステム	畜産物	地ビール

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
社-49	福田竜一 教授	宇都宮	農業経済学 ・農村振興 ・農村金融 ・農産物貿易	農泊	農村RMO	農業協同組合
社-50	中澤駿佑 助教	宇都宮	地震工学、木質構造 ・建物の耐力に応じて説明変数を変えた被害関数 ・建物の耐力の違いを考慮した1自由度系建物群モデル ・地震動の方向性を反映した被害推定手法	地震動	木造建物	被害推定
社-51	中川嵩章 助教	宇都宮	プロジェクトマネジメント、社会基盤史 ・都市開発プロジェクトの構造と戦略の解明 ・都市計画制度史研究 ・建築家による都市計画に関する研究	プロジェクトマネジメント	都市計画	景観工学
社-52	杉田直樹 教授	宇都宮	社会連携 ・農産物ブランド化 ・農商工連携、農業の6次産業化 ・農産物マーケティング	農業経営	マーケティング	ブランド
社-53	林 宇一 准教授	宇都宮	森林社会科学 ・林業労働力分析 ・木材価格分析 ・森林経済学	林業労働	林業雇用対策	林業の定着
社-54	神代英昭 准教授	宇都宮	農業経済学、農政学 ・フードシステム ・農山村地域 ・農業市場	フードシステム	農山村再生	農業政策
社-55	大嶽陽徳 助教	宇都宮	建築意匠、建築設計、建築史 ・住宅や公共空間の設計に関する実践的取り組み ・まちデザインに関する実践的取り組み ・現代の建築意匠論に関する研究 ・近代栃木の建築家の創作活動に関する建築史的研究	地域との協働による建築設計・まちデザイン	歴史的建造	物の文化的な価値
社-56	古賀 章 准教授	宇都宮	建築計画、環境心理学、建築設計 ・こども施設・高齢者施設の建築計画論と設計 ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン・サイン計画 ・心理評価手法の開発と検証 ・空間の明るさ感と快適性の指標化 ・建築の環境・設備性能調査と使いこなし	環境づくり	空間評価	建築計画
社-57	佐藤 栄治 教授	宇都宮	都市計画、都市解析、医療福祉政策支援 ・定量的手法を用いた医療・福祉サービス提供体制の検討 ・地域活性化に向けた地域資源の活用手法の検討 ・建物の使われ方、設計指針、整備指針の検討	EBPM: Evidence Based Policy Making	施設配置論	行動分析
社-58	杉山 央 教授	宇都宮	建築材料、施工 ・コンクリートの各種物性・耐久性・シミュレーション ・建築施工の合理化・管理 ・カーボンニュートラル実現に向けた低炭素型建築材料	コンクリート	建築材料	数値解析
社-59	中島 史郎 教授	宇都宮	木質構造、木質材料、建築再生 ・木質構造物・部材の開発と性能評価 ・使用環境が木質材料・部材の性能に及ぼす影響の解明 ・地域材利用による地域と建築の再生	木質材料	地域材	建築再生
社-60	中野 達也 准教授	宇都宮	建築構造、鉄構造、耐震工学 ・鋼構造建築物における接合部の力学性能評価 ・鋼構造建築物に関する接合部設計法の合理化 ・鋼構造建築物のための新しい接合構法の開発	構造実験	数値解析	設計法や施工法の開発
社-61	深堀 清隆 准教授	埼玉	現在の主要な研究フィールドは埼玉県内が多いですが、それぞれの地域の景観上の課題について地域の個性を踏まえた調査、評価分析、景観まちづくりの提言を行っています。	景観工学	景観まちづくり	
社-62	須ヶ間 淳 助教	埼玉	●公共交通のネットワーク・運賃・運行頻度等に着目した最適化 ●公共交通と各種施設配置の同時最適化 ●都市の最適更新戦略 ●最適旅行プラン生成システム	公共交通	ネットワークデザイン	施設配置計画
社-63	小林 健一郎 教授	埼玉	●市規模であれば市全域の簡易洪水計算を例えば富岳が動けば一日でできます。 ●富岳というと敬遠する方もいるかと思いますが、簡易計算はあくまで試算とお考え下さい。病院のCT やMRI と同じで、問題があるかもしれない箇所を画像で判断することになります。 ●最終的には現場検証が必要になります。また、河川行政や危機管理行政と矛盾を生じるものでもないと考えています。 ●流域治水では、すべてのステークホルダーが流域の安全・安心を「自分事」として考えると国も宣言していますので、大学人としてできることをしたいと思っています。	洪水	数値シミュレーション	気候変動
社-64	中村 謙吾 助教	埼玉	【産業界へのアピールポイント】 ●地盤環境の物質移動プロセスの基礎から応用までが研究領域 ●日本国内外の研究調査実績(土壌・地下水調査、津波堆積物調査、廃棄物調査) →環境リスクを背景に地盤工学・農業土木の環境問題に取り組むことが可能。 →産業副産物の新たな利用方法の提案が可能。 →機械学習の数学的要素を取り入れたデータの可視化による新たなアプローチの提案。 【実用化例・応用例・活用例】 ●産業副産物を用いた大気中CO2 除去技術の確立(Yoshioka et al, 2022、Frontiers in Environmental Science) ●機械学習を用いた土壌中重金属類の吸着プロセスの推定(Nakamura et al, 2017、CHEMOSPHERE) ●歴史津波堆積物の判定・判別システムの構築(地学雑誌, 2022) ●新規物質の環境リスク評価手法の確立(環境省研究総合推進費2016 ～ 2019, 2019 ～ 2022) ●開発途上国の産業副産物の環境リスク評価手法(SATREPS)	環境リスク	環境動態評価	地盤工学

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
社-65	牧 剛史 教授	埼玉	【産業界へのアピールポイント】 ●各種載荷実験設備とノウハウ(柱やはりの載荷装置、材料試験用の万能試験機など) ●コンクリート構造物および地盤の非線形数値解析を実施可能 ●企業との共同研究を通じて、これまでに数件の特許を取得 【実用化例・応用事例・活用例】 ●短時間の交通規制で更新可能な壁高欄を企業と共同開発(特許)および実施工 ●既設構造物の補強を行うにあたり、実験および解析によりその効果を評価 ●既設地中涵渠の地震時挙動を、地盤の液化化を考慮した数値解析で評価 ●非線形有限要素解析で用いる損傷評価手法を提案し、設計指針にも採用	コンクリート	耐荷性	数値解析
社-66	長田 昌彦 教授	埼玉	●MP-PAWR は、現在までのところ世界最新の気象レーダと言われています。 ●その理由の一つは、偏波を使って雨滴に関する多くの情報を得ていること、 ●もう一つは、ファンビームとデジタル・ビームフォーミング技術を用いて、アンテナを一周回すことで全天の雨滴情報が得られることです。 ●これらによって、全天の雨滴情報を30 秒間隔で三次元立体観測しています。	土砂災害	気象災害	気象レーダ
社-67	富樫 陽太 准教授	埼玉	●コンクリート構造物をコア抜きする場合に、円柱供試体にひずみゲージを設置して埋め戻すことで、部材の局所的なひずみテンソルが測定できます。 ●ひずみテンソルの測定により、3 主ひずみの値と方向が特定できます。 ●地震時における主ひずみ方向の回転が正確に測定できます。 ●残留ひずみも特定できます。	ひずみテンソル	コンクリート	トンネル
社-68	持木 克之 准教授	埼玉	●生活に無理を強いない程度での環境影響の最適化 ●計画段階での環境影響評価の支援 ●実務経験を活かした生活インフラ(上下水道)のマネジメント支援 ●現在の主要な研究フィールドは埼玉県内です。	環境アセスメント	計画策定支援	インフラマネジメント
社-69	宮田 伊知郎 教授	埼玉	●差別が続く理由を社会経済的な文脈から解明する ●現代アメリカ都市が抱える問題について理解する	都市政治	貧富の差の拡大	ジェントリフィケーション
社-70	鮮于 媚(ソヌミ) 教授	埼玉	●日本語学習者の母語によらず共通した知覚練習アプリの開発 ●多様な日本語学習者に対しても感覚的に学べることばの練習方法の検討	外国語としての日本語	音声教育	言語学習
社-71	BJOERK TOVE JOHANNA (ビュールクトーヴェ ヨハンナ) 教授	埼玉	●エンタメ業界への歴史的理解が得れる	都市空間	歌舞伎劇場	公共圏
社-72	江口 幸治 教授	埼玉	●事業承継における家族の遺産承継(相続)問題 ●農業経営法人の事業承継問題解決 ●所有者不明土地問題解消および有効活用のためのシステム構築	土地利活用	事業承継	所有者不明土地
社-73	大津 唯 准教授	埼玉	●データ分析に基づく社会保障制度の評価と提言 ●自治体や民間団体が実施する個別事業の評価 ●社会保障・福祉に対する理解	社会保障	福祉	貧困
社-74	長田 健 教授	埼玉	【産業界へのアピールポイント】 ●私たちは日々の生活の中で個人の繋がりの重要性を認識しているはずですが、企業も政府もそれをデータ化して分析し活かす時代が来ていると思います。 ●役員などの選任、採用人事、社内の人材配置、社外の繋がりの開拓等	パーソナル・ネットワーク	金融	企業
社-75	禿あや美(カムロ アヤミ) 准教授	埼玉	●男女平等の推進・女性活躍推進の社内の取組状況が見える化できます ●人権デューデリジェンスの一環として自社の賃金をチェックできます ●社内の全ての職務ではなく、いくつかのコア業務に限り行うこともできます ●先進的な社内制度の実現に向けた取り組みとしてPR することで、若手人材などの獲得競争に優位性を持つことができます	同一(価値)労働同一賃金	男女平等	ジョブ型雇用
社-76	中川 忍 教授	埼玉	●少子高齢化時代は、あらゆる分野における生産性引き上げが重要となる ●高齢化先進国の日本にとって、高齢化は世界規模のビジネス・チャンス ●金融は、生産性引き上げ余地が大きい分野の一つ ●預貯金のままではなく、お金にも働いてもらうことが重要 ●AI、ロボット、アニメ技術などを駆使した世界をリードするシルバー産業の育成 ●オンライン・バンキング、キャッシュレス化、資産形成や保険診断アプリ、ロボ・アドバイザー、信用判定など、金融分野の生産性向上余地は大きい	人生100 年時代	金融デジタル化	金融リテラシー
社-77	水村 典弘 教授	埼玉	●豊富な階層別研修実績(対面型とオンライン型) ●現場起点のコンプライアンス研修 ●テキストマイニングの手法に基づく自由投稿の分析とフィードバック	コンプライアンス研修	組織の風通し	オンライン研修
社-78	中島 雅子 教授	埼玉	●OPP シートを活用した各種研修(学習ポートフォリオによる企業研修) ●価値観に注目した企業風土の変革 ●社会人教育 ●人材育成 ●概念や考え方の形成過程を重視した企業改革	OPPA 論	理論と実践の融合	自己評価
社-79	皆川 浩 准教授	宇都宮	●社会基盤構造材料の開発 ・産業廃棄物・未利用資源の有効活用や、低炭素コンクリートの高耐久化研究 ・近赤外分光法やサーモグラフィを用い、足場や交通規制を要しない構造物診断技術の開発 ・塩害や中性化によるコンクリート内部の鋼材腐食を抑える電気化学的補修・維持管理技術の構築	コンクリート構造物	塩害・中性化・鉄筋腐	遠隔診断・非破壊検

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-1	平井宏和 教授	群馬	脳細胞への遺伝子導入法開発、薬剤の神経細胞機能やシナプス伝達に対する影響評価	神経変性疾患	小脳	遺伝子治療
ラ-2	松尾一郎 教授	群馬	糖鎖や糖質関連化合物の合成、糖修飾化合物の合成、糖質関連酵素の解析、糖鎖構造解析 機器分析装置(NMR、MALDI-TOF MS、LCMSなど)による有機化合物の構造解析	糖鎖合成	糖質関連酵素	糖ペプチド
ラ-3	佐伯俊彦 准教授	群馬	電気泳動でのタンパク質の分離解析、タンパク質の質量分析	電気泳動	質量分析	培養細胞
ラ-4	大友征宇 教授	茨城	太陽エネルギー変換、膜タンパク質の構造と機能解析	光合成	膜タンパク質	色素分子
ラ-5	田内広 教授	茨城	動物細胞培養 遺伝子解析手法 放射線安全に関する事項	DNA	分子生物学	がん放射線治療
ラ-6	鈴木和浩 教授	群馬	前立腺癌、前立腺肥大症	前立腺癌	前立腺肥大症	ホルモン
ラ-7	武田茂樹 教授	群馬	遺伝子解析、有用タンパク質の大量生産、新規薬理活性物質の探索	受容体	自己組織化	バイオナノマシン
ラ-8	井上裕介 教授	群馬	遺伝子工学全般、細胞培養	肝臓	核内受容体	ノックアウトマウス
ラ-9	小林哲也 教授	埼玉	ホルモンや生理活性物質の機能と作用機構	ホルモン、受容体	シグナル伝達	生理機能
ラ-10	戸嶋浩明 教授	茨城	有機合成、天然物全合成、誘導体合成、有機化合物の構造解析	植物毒素	花芽誘導	脂肪酸
ラ-11	森聖治 教授	茨城	医薬品設計に広がる酵素反応機構 合理的触媒設計	量子化学計算	分子動力学計算	化学反応機構
ラ-12	西川陽子 教授	茨城	アスコルビン酸の分析	アスコルビン酸	食品化学	食教育
ラ-13	齋藤繁 教授	群馬	鎮痛薬の開発・改良 リハビリテーション器具の開発 酸素供給器具の開発	鎮痛薬	麻酔薬	重症患者管理
ラ-14	尾崎広明 教授	群馬	修飾核酸の物性評価、核酸の蛍光標識化、修飾核酸の化学合成	修飾核酸	DNA	蛍光標識化
ラ-15	田中秀逸 教授	埼玉	遺伝子操作、遺伝子機能解析、分子育種	アカハシガビ	糸状菌	微生物遺伝学
ラ-16	塚原伸治 教授	埼玉	神経内分泌学、化学物質の毒性評価スクリーニング	ホルモン	脳発達	性差
ラ-17	長南茂 教授	茨城	医学・医療、脳科学、物質生産	コエンザイムA	パントテン酸	代謝
ラ-18	畑田出穂 教授	群馬	エビゲノム解析 ES細胞作成	エビジェネティクス	エビゲノム	
ラ-19	奥津哲夫 教授	群馬	光化学の基礎 結晶成長学	光化学	結晶成長	光線力学療法
ラ-20	奥浩之 准教授	群馬	高分子材料・食品・化粧品品の分析・評価、機器分析(X線結晶解析、NMR、分子構造など)	ペプチド	高分子材料	検査デバイス・検査キット
ラ-21	日原由香子 教授	埼玉	シアノバクテリアの培養、遺伝子操作、代謝改変、物質生産	シアノバクテリア	転写制御	光合成
ラ-22	是枝 晋 講師	埼玉	光合成活性測定、代謝産物量定量、酵素活性測定、遺伝子発現解析、遺伝子系統解析	光合成	カルビン回路	多肉植物型酸代謝(CAM)
ラ-23	竹澤大輔 教授	埼玉	植物の無菌培養、遺伝子組み換え植物の作出、脱水および凍結耐性の評価	コケ植物	環境ストレス	凍結傷害
ラ-24	高橋 亮 助教	群馬	食品分析、食品開発、増粘・ゲル化剤、高分子分析	食品分析	非破壊分析	おいしさ
ラ-25	松岡浩司 教授	埼玉	生体適合性物質を有機合成的に扱う。クラスター型化合物の多点結合による飛躍的な活性向上。蛍光発光等を利用したテララーメードなバイオブローブ。クラスター型毒素中和剤を世界に先駆けて創出!2種類の蛍光を利用する高分子型基質を世界で初めて合成!!精密有機合成を行い、標的となる種々のクラスター型化合物への誘導が可能であり、感度も数百から数千倍の向上が見込める。特許も多数出願実績あり!!!	複合糖質	糖鎖	有機合成
ラ-26	尾関和秀准 教授	茨城	生体材料、薄膜工学	DLC	ハイドロキシアパタイト	酸化チタン
ラ-27	小竹敬久 教授	埼玉	植物試料からの多糖類の抽出や同定を行っています。多糖類を同定・定量する手法を持っています。特異的な分解酵素による多糖類の構造改変(低分子化)や同定を行っています。	植物細胞壁	多糖類	アラビノガラクトン
ラ-28	畠山 晋 准教授	埼玉	難治性ミトコンドリア病の解明のためには、未同定の遺伝子の機能の解明が必要。ヒトにおいて新たに遺伝子を解明するには倫理上の問題が多い。遺伝学的解析に優れており、ミトコンドリアを有するアカパンカビを用いることで新規のアプローチが可能	寿命	老化	ミトコンドリア
ラ-29	川村隆三 准教授	埼玉	モータータンパク質を架橋して作るゲルで、生細胞にマイクロスケールの動的。細胞微小環境を構築できる。(顕微鏡で動きを観察することができる)。モータータンパク質は、生物(ブタ等)由来なので高い生体適合性が期待できる。(細胞培養環境との共存化に成功している)	細胞培養	ゲル材料	がん診断
ラ-30	前田公憲 准教授	埼玉	生体への電磁波や磁場の影響に関する基礎研究。磁場と生体の概リズムの関係のメカニズムと関連しています。生体の研究からスピンエレクトロニクスなどの新しい量子デバイスへの応用が期待される。	動物の磁気感受	スピンエレクトロニクス	スピンドバイス
ラ-31	幡野 健 准教授	埼玉	標的とするウイルス、タンパク質がある時にだけ発光する『見える化』を実現。高輝度に発光するので、高感度検出が可能(既存製品の1,000倍高感度)。発光色を変えることも可能(青、緑・黄・橙)。光による劣化(光退色)をしない非常に安定な蛍光分子。低コストでの製造が可能	ウイルス・病原体検出	見える化	可視化
ラ-32	鈴木美徳 准教授	埼玉	バイオブローブの組合せの多様性により生体内信号伝達過程を複数同時モニター可能。バイオブローブの感知対象はタンパク質、核酸、糖、小分子、等々に対応。新たな感知対象に向けた新規バイオブローブ作製可能。バイオブローブの使用可能波長は全可視光領域を網羅。バイオブローブ作製法や応用、計測法など複数特許化	バイオブローブ	診断	ドラッグデリバリー
ラ-33	町原秀二 教授	埼玉	分散型偏微分方程式の初期値問題において解を捕まえる開数空間をいかに選ぶかが重要なポイントとなります。開数空間の一例であるソボレフ空間における正則度を表す指数の低減化は国内外の研究者が競って研究しています。定理の進展もそうですが、それを導く解析的技術が注目されます。	偏微分方程式	可解性、非可解性	ソボレフ空間
ラ-34	楓 和憲 准教授	埼玉	生活の質を向上させる機器の操作入力デバイスに関心があります。使いやすさの追求、操作に対する満足感を提供できる方法について研究を行っています。制動力のみを利用した力覚の呈示は、人間との衝突や過負荷に対する安全性、低騒音性が要求される装置に応用可能であると考えています。	操作入力支援	抵抗トルク呈示	ジョイスティックレバー
ラ-35	山口雅利 准教授	埼玉	・細胞壁形成機構に関わる遺伝子を多数同定 ・バイオマス利活用による有用な植物体作出を行う ・特許出願実績あり ・細胞壁形成以外の植物の生理現象についても遺伝子レベルで解明することもできる	植物細胞壁	リグノセルロースバイオマス	植物分子育種
ラ-36	戸澤 譲 教授	埼玉	通常組織系では機能を再現することが困難なタンパク質を高品質で生産可能。膜タンパク質も脂質膜の添加条件により機能を持った形で作ることができる。活性を失いやすい酵素タンパク質も安定的に合成することが可能。改変酵素遺伝子の利用に関する国際特許出願あり	タンパク質機能解析	植物遺伝子発現	試験管内タンパク質合成
ラ-37	上野茂昭 准教授	埼玉	従来法および新規測定法を積極的に取り入れ、食品の様々な品質特性を評価します。全く新しい視点での加工技術および食素材の開発を行っています。あらゆる食品を対象としています	食品	非加熱加工	凍結解凍
ラ-38	齋藤伸吾 教授	埼玉	キャビラリー電気泳動法を使ってタンパク質や細胞に対する高性能な核酸アプタマーを獲得できる。従来よりも高速にかつ確実にアプタマーの選抜が可能。アプタマー同士を結合させた多点認識アプタマーの設計が可能	DNAアプタマー	キャビラリー電気泳動	アプタマー選抜法
ラ-39	島田 裕 准教授	埼玉	種々の形式のデータのネットワークによる可視化・解析が可能。ネットワーク解析に加え、データの非線形(カオス)時系列解析も可能	データ解析	ネットワーク解析	非線形時系列解析

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-40	津田佐知子 准教授	埼玉	光技術を駆使した、脳の情報処理ネットワークの構築メカニズムの解明 ・新規膜電位イメージング(電位の変化を光学的に検出)、カルシウムイメージングによる、個体レベルでの神経活動の可視化技術 ・生体組織の形と活動についての、3次元解析技術	光技術	神経ネットワーク構築	小型魚類
ラ-41	井上栄一 教授	茨城	植物の遺伝子マーカー開発 園芸分野に関する事	園芸作物	果樹	生理障害
ラ-42	行木信一 准教授	群馬	遺伝子工学全般、Flow cytometry解析、蛋白質精製、NMRによる蛋白質の立体構造解析	翻訳系	蛋白質合成系	リボソーム
ラ-43	高橋 剛 准教授	群馬	ペプチド合成、ペプチドライブラリの作製および有用ペプチドの探索	ペプチドライブラリ	タンパク質工学	ケミカルバイオロジー
ラ-44	二村圭祐 教授	群馬	次世代シーケンシングを用いたゲノムや遺伝子発現、DNAバーコードなどの解析、バイオフィオマトイクス、腫瘍へのmRNA導入、FACS解析、細胞のソーティング、腫瘍免疫	次世代シーケンシング	フローサイトメトリー	腫瘍
ラ-45	武井雄一 准教授	群馬	精神医学、心理学、神経心理学、電気生理学など知見、時系列データに関連した解析技術など	脳磁図	オシレーション	精神疾患
ラ-46	神谷厚輝 准教授	群馬	人工細胞膜リボソームの作製、膜タンパク質の発現・精製、タンパク質機能観察、各種顕微鏡観察、パッチクランプ測定、マイクロ流体デバイス作製	リボソーム工学	タンパク質工学	マイクロナノシステム
ラ-47	杉山友太 准教授	群馬	ヒト腸内細菌による食餌成分代謝機構の解明 ヒト腸内細菌の遺伝子操作	腸内細菌	遺伝子	糖質関連酵素
ラ-49	大森 玲子 教授	宇都宮	食生活学、生活科学 ・現代的課題に応じた食教育プログラムの開発・検証 ・地域住民の食と健康に関する研究 ・ライフステージに応じた食支援のあり方	食生活学	食教育	健康づくり
ラ-50	青山 真人 教授	宇都宮	・家畜のストレス、特に輸送に伴うストレス ・ウマの精神性発汗に関する研究 ・有害野生鳥獣の被害防除	ストレス評価	輸送ストレス	アニマルウェルフェア
ラ-51	岩永 将司 教授	宇都宮	・昆虫ウイルスによる宿主制御機構の解明 ・昆虫ウイルスを利用した外来タンパク質発現系の構築	昆虫ウイルス	バキュロウイルス	BEVS
ラ-52	香川 清彦 助手	宇都宮	応用昆虫学 ・アブラムシ類の分類、生活環、多型性に関する研究	アブラムシ	生活環	農薬
ラ-53	柏木 孝幸 准教授	宇都宮	・イネの下位部支持力に関する量的形質遺伝子座 ・イネにおける稈の物理強度に關与する量的形質遺伝子座 ・米の食味関連形質に關与する量的形質遺伝子座	イネ	倒伏抵抗性	DNAマーカー選抜
ラ-54	栗原 望 講師	宇都宮	形態学、分類学、動物学 ・哺乳類の体性感覚 ・種内の形態変異の解析(奇形や破格なども含む) ・海棲哺乳類の分類	哺乳類	鯨類	機能形態
ラ-55	黒倉 健 准教授	宇都宮	生物資源科学、園芸学 ・バラ科成長相制御機構の分子的生理学的解明 ・栽培イチゴの祖先種の解析	園芸作物	植物生理	分子生物学
ラ-56	園田 昌司 教授	宇都宮	植物保護学 ・重要害虫の薬剤抵抗性管理に関する研究 ・天敵を用いた害虫管理技術の開発 ・昆虫の生理・生態に関する研究	害虫管理	薬剤抵抗性	天敵利用
ラ-57	豊島 由香 准教授	宇都宮	・栄養状態とインスリン作用に関する研究 ・タンパク質不足と脂肪肝に関する研究 ・インスリンやインスリン様成長因子による代謝調節に関する研究	インスリン	栄養	代謝
ラ-58	西川 尚志 准教授	宇都宮	植物保護 ・トマトに感染するウイルスの遺伝子解析と防除法の開発 ・ムギに感染するウイルスの病原性決定因子の解明 ・各種ウイルスのワクチン開発	植物病理	植物ウイルス	オオムギ・トマト
ラ-59	大庭 亨 教授	宇都宮	生物有機化学、ケミカルバイオロジー ・脳神経系を解析および操作するための薬剤の開発 ・光や放射線を用いるがん治療のための薬剤の開発 ・ナノ医療技術の開発	蛍光プローブ	電位感受性色素	ナノ医療
ラ-60	煉谷 裕太郎 助教	宇都宮	植物病理学、植物保護 ・植物ウイルスの簡易迅速検出系の確立 ・東南アジアで発生する植物ウイルスの調査 ・ウイルスの感染に必要な宿主因子の探索	植物病理学	植物ウイルス学	ウイルス検出・防除
ラ-61	早川 智恵 准教授	宇都宮	自然科学, 農学, 環境 ・火山灰土壌における有機物の分解促進機構に関する研究 ・耕地土壌における土壌炭素貯留に関する研究 ・資源循環型農業を目指した地域の未利用有機物資源の活用方法に関する研究 ・資源循環型農業を目指した地域の未利用有機物資源の活用方法に関する研究	埋没腐植	プライミング効果	土壌微生物
ラ-62	房 相佑 教授	宇都宮	遺伝・育種学 ・アブラナ科植物の雄性不稔系統の育成 ・アブラナ作物の根こぶ病抵抗性系統の育成 ・アブラナ科植物における機能性新型野菜の育成 ・薬用植物の品種改良	アブラナ科	種・属間交雑	遠縁交雑
ラ-63	福井 えみ子 教授	宇都宮	自然科学系 ・高い経済形質を持つウシの遺伝子解析を利用した効率的生産に関する研究 ・家畜における性別別および個体識別に関する研究 ・野生ニホンジカにおける遺伝的多様性および人畜共通感染症に関する研究	個体識別	性別別	遺伝子解析
ラ-64	松本 浩道 教授	宇都宮	・哺乳動物における初期胚発生および着床成立の分子機構 ・体外受精胚における発生と着床能力の改善 ・着床能力の高い胚盤胞を評価 ・選別する手法の開発	初期胚発生	受精	胚質の評価
ラ-65	山根 健治 教授	宇都宮	園芸学 ・園芸作物の品質保持 ・花の老化のメカニズム ・木本性植物の早期開花	花	品質	生理
ラ-66	吉澤 史昭 教授	宇都宮	栄養生理化学 ・アミノ酸の生理機能の解明 ・栄養素による体タンパク質合成制御の機構解析 ・脳活動情報に基づいたいちごの味に関する解析	タンパク質合成	翻訳制御	アミノ酸

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-67	飯郷 雅之 教授	宇都宮	分子生理学, 時間生物学, 光生物学, 光計測 ・動物の体内時計, 季節繁殖, および回遊の分子機構 ・光による生体成分の非侵襲リアルタイム計測技術開発 ・住民参加型生物多様性調査と分子レベルの生物多様性	体内時計	季節繁殖	ホルモン
ラ-68	蕪山 由己人 教授	宇都宮	・皮膚再生とコラーゲン代謝 ・非標準アミノ酸を用いた高機能ペプチドの開発 ・がん細胞の浸潤・転移の栄養生理学的な解析	タンパク質発現プロファイリング	低分子有機化合物のLC-MSを用いた定量解析	タンパク質加水分解物の生理機能解析
ラ-69	加藤 紀弘 教授	宇都宮	機能性高分子、微生物工学、生物工学 ・ヒドロゲルの合成と物性評価 ・細菌間情報伝達機構クオラムセンシング ・細菌感染症・バイオフィルム形成阻害素材の開発	ソフトマター	シクロデキストリン	微生物利用技術
ラ-70	金野 尚武 准教授	宇都宮	環境、材料 ・きのこ類による木材腐朽メカニズムの解明 ・きのこ由来成分を活用した機能性材料開発	きのこ	木材腐朽	多糖
ラ-71	二瓶 賢一 教授	宇都宮	・酵素阻害剤、特にメラニン形成調節剤の開発 ・天然有機化合物の分析・構造解析・有機合成	有機合成	誘導体化	天然有機化合物の分析・構造解析
ラ-72	橋本 啓 教授	宇都宮	食品化学 ・生活習慣病のリスク低下が期待される食品由来成分 ・加工・調理における食品成分の変化 ・食品関連廃棄物の機能性素材化	酵素活性抑制	胆汁酸吸着	食品由来機能性成分
ラ-73	羽生 直人 教授	宇都宮	環境エネルギー ・多糖類の酵素分解による有用物質の産生 ・木質系バイオマスの有効利用	セルロース	木材科学	木材防腐
ラ-74	前田 勇 教授	宇都宮	応用微生物学 ・イネ内生細菌による窒素固定活性の向上 ・食品の発酵に用いられる真菌類の代謝 ・発酵食品製造のスターター乳酸菌の機能性	窒素固定細菌	テルペンアルコール	抗菌物質
ラ-75	水重 貴文 准教授	宇都宮	・食品由来低分子ペプチドの機能性探索 ・食品由来低分子ペプチドの体内動態解析	精神的ストレス	うつ	神経新生
ラ-76	山田 潔 講師	宇都宮	食品免疫学、食品科学 ・食物アレルギーの低アレルギー化 ・食物アレルギーを改善する食品成分の探索 ・免疫機能を調節する機能性食品成分の探索	食物アレルギー	低アレルギー化食品	免疫調節機能
ラ-77	飯山 一平 准教授	宇都宮	土壌物理学 ・土壌中における水分動態の実態解明と予測 ・土壌中におけるガス動態の実態解明と予測	土壌の透水性	土壌の保水性	土壌の通気性
ラ-78	齋藤 高弘 教授	宇都宮	生物環境調節、施設園芸、食品科学、食品工学 ・付加価値の高い植物育成システム(植物工場)の開発 ・施設園芸にける環境調節技術の開発 ・食品、清酒、ビールなどの品質評価と機能性の向上	植物工場	施設園芸	食品
ラ-79	田村 匡嗣 准教授	宇都宮	食品工学、食品科学 ・米飯の加工操作に伴う糖質消化性、組織構造、力学物性の変化に関する研究 ・栃木県産農産物(オオムギ、ソバ、チャ)を使った地域食品の開発とその評価 ・Future Foodsの創製	In vitro模擬消化試験	糖質消化性	テクスチャ解析
ラ-80	玉田 洋介 准教授	宇都宮	生命科学、植物分子農学 ・イメージングと光細胞操作による未知の生命現象の解明 ・植物の幹細胞化・再生メカニズムの解明 ・新しいバイオイメージング法と光細胞操作法の開発	植物の再生能力	イメージング	細胞操作
ラ-81	菱沼 竜男 准教授	宇都宮	環境、エネルギー ・農畜産物の生産・消費システムの総合的評価手法開発に関する研究 ・農畜産物の省エネルギー型生産システム構築に関する研究 ・ライフサイクル思考を取り入れた食と農の教育プログラム開発の研究	環境影響評価(LCA)	エネルギー収支分析	バイオマス利活用
ラ-82	松井 正実 教授	宇都宮	農業機械学、農業情報学 ・トラクタ・コンバイン・田植機の挙動および制御に関する研究 ・農作業安全のための生体情報利用に関する研究 ・穀粒の風選別に関する研究	農業機械	システム開発・自動化	農作業安全・軽労化
ラ-83	守山 拓弥 准教授	宇都宮	農村における生態系の解明、保全および利活用 ・農業水路における魚類の生態解明と保全 ・里山における高次捕食者であるフクロウの生態解明と保全 ・歴史史料を用いた江戸・明治期の生物相の解明	農村生態系の解明	環境アセスメント	生物を利活用した地域おこし
ラ-84	池田 裕樹 准教授	宇都宮	園芸化学 ・トマトの近縁野生種が有する有用形質と遺伝子の解析 ・タマネギのりん茎肥大メカニズムの解明	野菜	栽培	遺伝子
ラ-85	柏寄 勝 准教授	宇都宮	品質維持・評価技術、生産流通環境 ・農産物の高品質維持技術に関する研究 ・非破壊品質評価技術に関する研究 ・日本産果実の高品質輸出技術に関する研究と社会実装	果実	ポストハーベスト	おいしさ推定
ラ-86	高橋 行継 教授	宇都宮	水稻栽培全般に関連した技術改善、普及 ・育苗、施肥技術省力・低コスト化技術、新規肥料・薬剤等の開発 ・生育診断モデル・システムの開発	水稻	栽培技術開発	気象解析
ラ-87	諸星 知広 准教授	宇都宮	環境 ・細菌間コミュニケーション機構の解析と応用 ・植物病原性細菌・植物保護細菌の機能解析と応用 ・生分解性プラスチック分解細菌の生態解明	細菌の培養・単離	細菌叢解析	細菌の遺伝子組換え
ラ-88	大島 潤一 准教授	宇都宮	環境 ・気象害及び病害虫等が樹木の成長と材質に与える影響の解明 ・森林資源の有効活用	森林被害	気象害・獣害	材質劣化
ラ-89	小寺 祐二 准教授	宇都宮	野生鳥獣管理学、生態学、保全生物学 ・イノシシの繁殖および栄養状態などに関する生態学的研究 ・捕殺された鳥獣の資源利用に関する研究 ・鳥獣管理事業者の心身ケアに関する研究	鳥獣管理	鳥獣による各種被害管理	生態系保全
ラ-90	小林 浩幸 教授	宇都宮	雑草学 ・雑草の生態、個体群動態に関する研究 ・難防除雑草の管理技術の開発 ・環境保全型農業技術の開発	雑草	生活史	埋土種子集団

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-91	児玉 豊 教授	宇都宮	・植物細胞の環境応答と制御 ・新しいバイオテクノロジーの開発	顕微鏡技術	遺伝子組換え	分子生物学
ラ-92	謝 肖男 准教授	宇都宮	天然物化学、質量分析化学 ・根寄生雑草防除法の探索 ・先端機器分析法の開発 ・ストリゴラクトンデータバンクの構築	天然物	質量分析	ストリゴラクトン
ラ-93	鈴木 智大 准教授	宇都宮	生物化学・天然物化学・生命情報学 ・急性脳症を引き起こしたスギヒラタケの毒物質に関する研究 ・冬虫夏草(サナギタケ)の感染過程において発現する遺伝子の解析 ・マコモと黒徳菌の共存・共生の分子機構解明	次世代シーケンサーを用いたゲノム・トランスクリプトーム解析	質量分析装置を用いたタンパク質同定	メタボローム解析
ラ-94	野村 崇人 准教授	宇都宮	植物生理学・植物分子生物学・天然物有機化学 ・植物ホルモンに制御される植物生長のしくみを解明 ・植物ホルモンの生合成経路の解明 ・植物生長を制御する新規シグナル分子の探索	植物ホルモン	植物の生長制御	ストリゴラクトン
ラ-95	松田 勝 教授	宇都宮	・小型魚類をモデルとした脊椎動物の性差決定機構解明 ・野生メダカの遺伝的多様性	野生集団遺伝的多様性	遺伝子解析	発生生物学
ラ-96	宮川 一志 准教授	宇都宮	・ミジンコの環境応答を制御する分子基盤の研究 ・ミジンコの環境応答を利用した環境試験法の開発 ・幼若ホルモン経路の進化がもたらす節足動物の多様化過程の研究	ミジンコ	節足動物	生物の環境応答
ラ-97	奈須野恵理 助教	宇都宮	微生物生態学、生物機能工学、高分子材料工学 ・有機合成プローブによる微生物の二次代謝を制御する細胞間情報伝達機構の可視化 ・抗生物質耐性細菌・ホルムアルデヒド耐性細菌の機能解析と応用 ・乳化破壊能を有するパイオサーファクタント	グラム陰性・陽性細菌の培養	環境試料からの有用細菌の探索・同定	標的タンパク質を大量生産する遺伝子組換え体の作製
ラ-98	嶋脇 聡 教授	宇都宮	・近赤外光を用いた非侵襲生体情報計測(血管硬度、血中コレステロール、血管内皮細胞機能、動・静血圧) ・母指または母趾爪ひずみの計測 ・ヒト関節運動のシミュレーション(肘屈曲伸展、肩外転、肩前方挙上など) ・上腕前方挙上動作アシスト装置の開発	生体計測	生体構造(骨、筋、靱帯、血管、軟組織)	生体の機械的組織
ラ-99	大西孝幸 准教授	宇都宮	育種学 ・アブラナ科植物中のグルコシノレートに関する研究 ・アブラナ科作物の根こぶ病耐性に関する研究 ・イチゴの倍数性に関する研究	倍数性	生殖隔離	品種改良
ラ-100	佐藤元映 助教	宇都宮	ライフサイエンス、飼料学 ・未利用資源の家畜飼料化 ・反芻家畜用メタン低減飼料の開発 ・ルーメン微生物叢と生産性の関係解析	反芻動物	微生物叢	ルーメン
ラ-101	逢沢峰昭 教授	宇都宮	ライフサイエンス/森林科学、多様性生物学、分類学 ・山岳地の植物の分布 ・森林植物の分類学的整理 ・森林生物の生態	山/自然/樹木	生物多様性	遺伝
ラ-102	赤坂舞子 准教授	宇都宮	雑草 ・雑草検疫に使用できるDNA情報に基づく識別技術に関する研究 ・雑草検疫に使用できる雑草種子の消毒技術に関する研究 ・水稻乾田直播栽培で発生する雑草に関する研究	雑草検疫	水稻乾田直播	DNA解析
ラ-103	カバリェロ 優子 准教授	宇都宮	栄養学、食育、家庭教育 ・食品の栄養素等の複数の要素の含有量を容易に把握する ・食事と肥満との関連 ・カテキンリッチ破碎ブレンド緑茶の開発と官能検査	栄養疫学	国際栄養	エネルギー代謝
ラ-104	中林 正隆 助教	宇都宮	医用工学、福祉工学、バイオメカニクス ・複合弾塑性ケーブル機構の機械的トルク制御を用いた安全な手指関節動作支援技術 ・多層配置型リニアソフトアクチュエータを備えた全弾塑性流体内推進機構の変形特性の検討 ・鏡視下手術支援のための術具ガイド用マニピュレータ	医用システム	アクアバイオミメティクス	ソフトロボティクス
ラ-105	石川 智治 教授	宇都宮	感性情報学 ・被服の触感や外観情報の判断を可能にする画像製作と呈示技術の基礎研究 ・深い癒しに重要な体感等に注目した「場」の実現に関する研究	五感	感性	心理物理学
ラ-106	伊藤 聡志 教授	宇都宮	医用画像工学 ・磁気共鳴映像法(MRI)の撮像法 ・画像復元処理 ・深層学習を利用した画像処理	MRI	画像処理	画像復元
ラ-107	樋山みやび 准教授	群馬	量子化学計算 古典分子動力学計算 スペクトル解析	生物発光	電子状態理論	原子分子物理
ラ-108	秋山棲登 助教	群馬	【研究テーマ】 ・定量的な視空間認知評価による脳卒中患者の自動車運転再開支援 ・上肢機能・視覚機能の分析、日常生活活動との関連性 【研究ツール】 ・ウェアラブルアイトラッカーによる視線分析 ・リープモーションセンサによる上肢機能評価(上肢運動の時空間評価)	脳卒中の自動車運転再開 視線分析 目と手の協調 日常生活活動		
ラ-109	朝倉智之 助教	群馬	【研究テーマ】 ・sit-to-walk taskにおけるfluidityについて ・理学療法学生生の自己主導型学習の経時的変化について 【研究ツール】 三次元動作解析装置、床反力計、重心動揺計、筋電計、加速度計	動作解析、継続教育		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-110	大西浩史 教授	群馬	【研究テーマ】 ・脳内免疫系による老化制御機構の解析 ・RAS-MAPK症候群の分子病態メカニズム解析 ・中枢性代謝制御機構の解析 ・残留農薬が脳神経系に与える影響の解析 【研究ツール】 ・遺伝子改変マウス ・免疫組織化学(マウス) ・行動解析(マウス) ・神経細胞初代培養 ・動物手術(慢性脳低灌流、浸透圧ポンプなど) ・ウイルス作製・投与 ・RNAseqデータ解析	・脳 ・アンチエイジング ・ミクログリア ・ネオニコチノイド ・抗体医薬		
ラ-111	鬼塚陽子 助教	群馬	【研究テーマ】 ・クルーズトリパノソーマ(T. cruzi)を用いた、寄生虫-宿主相互作用に関する研究。 ・in vitro, in vivo の系を使ったシャーガス病の治療薬探索 【研究ツール】 培養細胞および寄生虫の培養 培養細胞の顕微鏡観察(蛍光顕微鏡、共焦点顕微鏡)、遺伝子組み換え実験 マウスの薬剤投与、解剖、心エコー取得	分子寄生虫学 寄生虫-宿主相互作用 原虫感染マウス		
ラ-112	加藤大悟 助教	群馬	【研究テーマ】 ・慢性呼吸器疾患患者に対するリハビリテーションの効果 ・ひきこもり成人に対する支援 ・理学療法学生の臨床実習達成度に関する研究 ・競技選手における障害予防に関する研究 【研究ツール】 歩数計、スパイナルマウス、筋硬度計、呼吸ガス分析機器、 μ -tas、活動量計、ボッチャセット、撮影機器、質的データ分析ソフトウェア	身体活動、行動変容、セルフマネジメント、歩数計、上肢機能障害、COPD、胸郭出口症候群、間質性肺炎、立ち上がりテスト、運動誘発性低酸素血症、ひきこもり、行動変容、身体活動、ウェアラブルデバイス、地域理学療法、筋力トレーニング、ICT、遠隔医療、理学療法教育、OJT、スポーツ理学療法、学外教育、臨床実習、質的研究、競技、障害予防、成長期、overuse		
ラ-113	菊地千一郎 教授	群馬	【研究テーマ】 ・非侵襲的脳機能計測法およびコンピュータプログラムを用いた高次脳機能計測 【研究ツール】 ・近赤外線分光法(フNIRS) ・刺激提示コンピュータプログラムによる認知機能測定	fNIRS, 高次脳機能, 認知神経科学		
ラ-114	後藤七海 助教	群馬	【研究テーマ】 ・造血器腫瘍におけるDNA修復遺伝子(APEX1)機能解析 ・多発性骨髄腫における低酸素条件による遺伝子発現変動の網羅的解析 ・造血器腫瘍におけるDNA修復遺伝子多型解析 【研究ツール】 ・レンチウイルスベクターを用いた遺伝子組換え細胞株の樹立(生調研との共同研究) ・培養細胞を用いた薬剤等の評価 ・血液疾患患者のDNAサンプル群 ・次世代シーケンスによる網羅的解析(未来先端機構との共同研究)	多発性骨髄腫 急性骨髄性白血病 骨髄異形成症候群 塩基除去修復 腫瘍微小環境 CRISPR-Cas9 次世代シーケンス		
ラ-115	小林さやか 助教	群馬	【研究テーマ】 ・肺癌の組織および細胞診検体を対象とした、癌細胞の核の形状変化に関する研究および画像解析に関する研究 【研究ツール】 ・顕微鏡観察 ・核膜蛋白を免疫染色し、定量、評価 ・バーチャルスライドスキャナを用いた標本のデジタル画像化 ・デジタル画像を基にして核の画像解析を行い核の面積、周長、真円度の評価	・肺癌の組織、細胞診標本 ・核の形状変化(特に核の歪み) ・核の形状変化に関連する核膜蛋白 ・組織、細胞診標本のデジタル画像化と核の画像解析		
ラ-116	小林 匠 教授	群馬	【研究テーマ】 ・足関節捻挫の発生・再発予防 ・扁平足と関連疾患の病態解明 ・障害予防を目的とした靴やインソール、靴下の開発 【研究ツール】 超音波画像診断装置、ストレス撮影用固定具、筋力測定機器、表面筋電図、重心動揺計	運動器障害, スポーツ外傷, リハビリテーション, 障害予防		
ラ-117	齊尾征直 教授	群馬	【研究テーマ】 核ラミナと核膜蛋白の果たす核形状変化に及ぼす各種腫瘍における役割の相違の探求 細胞内細胞現象の形成機序の解明 核内細胞質封入体形成機序の解明 病理組織・細胞診標本の画像データを用いたコンピュータ支援画像解析による病理組織の客観的評価法の開発 病理組織・細胞診標本の画像データを用いた機械学習・深層学習による臨床情報に基づいた病理形態学的特徴の解析 病理領域における染色原理の基礎的検討 病理領域における薄切技術の基礎的検討 【研究ツール】 機器: Whole Slide Scanner, 自動免疫染色装置, 画像解析用PC, 深層・機械学習用PC, ミクロトーム 手法: 特殊染色, 免疫染色, コンピュータ支援画像解析, 深層学習・機械学習	核ラミナ 核膜蛋白 細胞内細胞現象 核内細胞質封入体 病理診断・細胞診断 病理組織・細胞診標本の画像データ化 病理組織・細胞診標本のコンピュータ支援画像解析 病理組織・細胞診標本の機械学習・深層学習 病理標本の染色原理 病理標本の薄切原理		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-118	齋藤貴之 教授	群馬	【研究テーマ】 - 血液疾患におけるDNA修復の役割解明 - 多発性骨髄腫の病態解明 - 血液疾患における遺伝子多型の役割 - 健診データや検体サンプルを用いた健康増進のための社会実装 - 多職種の医療安全教育におけるオンデマンドシステムの構築 【研究ツール】 - real time PCR, Western blotなどの分子生物学的手法 - 多発性骨髄腫の細胞株 - 血液疾患の末梢血DNAサンプル - 細胞株のKOシステム - RNAseq - 健診データ - Python - G-Learning	遺伝子多型, 多発性骨髄腫, 血液疾患, 健診データ, KDB, データサイエンス, Python, Deep Learning, 実践的保健学データ人材育成プロジェクト, 医療安全, 多職種連携教育		
ラ-119	柴田孝之 准教授	群馬	【研究テーマ】 - 生体成分の高感度検出法の開発と新しい検体検査法の創製 - 発光を利用した新しい生体情報の可視化法と新しい生体検査法の創製 【研究ツール】 - 有機合成 - 紫外可視分光光度法 - 分光蛍光光度法 - 化学発光法 - 質量分析法 - 各種スペクトル (NMR, IR, CD)	・分析化学 ・有機化学 ・臨床化学		
ラ-120	下田佳央莉 助教	群馬	【研究テーマ】 - Mirror Neuron Systemの賦活が与える認知機能と情動へ影響 - 瞑想が認知機能・情動に与える影響と、その個人差の解明 - がんのリハビリテーションの効果 - 動作分析における動作観察時の眼球運動特性と着眼点の特徴 - 海外研修がinternational posture に与える影響 【研究ツール】 - 近赤外分光法: fNIRS: 脳機能計測装置 - 認知機能の検査 - 注意機能・実行機能の検査 - 心理状態の検査 - 気分状態の検査 - Flow状態の検査 - パーソナリティの検査 - アイトラッカー - アンケート	ミラーニューロン 脳活動・脳血流 前頭前野 認知機能 注意機能 情動 心理 気分 Flow 個人差 瞑想 がん リハビリテーション 日常生活活動 眼球運動 海外研修 教育		
ラ-121	多胡憲治 教授	群馬	【研究テーマ】 ①プロトがん遺伝子産物Rasを中心とした発がんシグナルの解析 ②Gタンパク質シグナルの破綻が引き起こす疾患発症メカニズムの解析 【研究ツール】 - 免疫沈降、培養細胞への遺伝子導入・発現、タンパク質精製、転写因子やタンパク質キナーゼ、Gタンパク質の機能解析、タンパク質複合体の精製・解析、タンパク質の分解系(ユビキチン・プロテアソーム、リソソーム分解など)の解析	Ras、Gタンパク質、発がんシグナル、がん抑制遺伝子産物、細胞老化、タンパク質複合体		
ラ-122	田中浩二 准教授	群馬	【研究テーマ】 - 認知機能評価テストの開発 - 加齢に伴う認知機能低下に関する研究 - 地域在住高齢の社会参加向上に関する研究 【研究ツール】 - 質問紙調査 - テキストマイニング	・高齢者 ・認知症 ・地域 ・社会参加		
ラ-123	十枝はるか 講師	群馬	【研究テーマ】 発達障害の2次障害の予防としての - 保育士、幼稚園・小学校教諭との協働 - 児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所のスタッフ対象との協働 【研究ツール】 - ペアレント・トレーニング保育士・教師版(ティーチャー・トレーニング) - 行動チェックリスト - COPM(本人や家族が主観的に重要と位置づける課題を選択した上で、その課題に対する遂行度と満足度を測る評価尺度) - インタビュー	発達障害 早期支援 保育士、教師、通所支援事業所スタッフ、作業療法士		
ラ-124	土岐明子 助教	群馬	【研究テーマ】 - 糖尿病と神経変性疾患の相互増悪に対する治療法開発 - インスリンボールに対する赤外自由電子レーザー照射の効果検討 - 脂肪細胞分化に関わる分子機構の検討 【研究ツール】 - 培養細胞を用いた検討 - マウスを用いた検討、組織および行動観察 - DSC、CD解析など理工学府との共同研究による凝集体の解析	IAPP(膵島アミロイドポリペプチド) 糖尿病 タンパク凝集体 SFPQ(Splicing Factor Proline And Glutamine Rich)		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-125	徳舛富由樹 教授	群馬	【研究テーマ】 マラリアやトリパノソーマといった原虫内における脂質代謝研究。 感染細胞の構造的、生化学的恒常性の維持機構の解明 脂質膜のリビドミクスと生物物理学的解析 高解像度ライブイメージングから解明する細胞内分子メカニズム 【研究ツール】 ・高解像度ライブイメージング ・質量分析計 ・コンディショナルノックアウト法 ・トランスクリプトーム解析 ・無細胞発現系によるタンパク質発現 ・リビドミクス解析 ・原子間力顕微鏡(AFM) ・ハイパースペクトラルイメージング	マラリア原虫 トリパノソーマ原虫 リン脂質 生体膜 アシル転移酵素 コレステロール ライブイメージング解析		
ラ-126	豊村暁 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・発話流暢性(吃音)に関する神経機構の研究 ・ポジティブ心理とネガティブバイアスの定量化 ・発話生成のボディーイメージ 【研究ツール】 ・脳波、事象関連電位(ERP) ・磁気共鳴画像法(fMRI) ・MATLAB、LabVIEWを用いたプログラミング ・信号処理	発話生成、非流暢性、吃音 ヒトの神経科学、生理心理学的研究 画像研究、運動制御		
ラ-127	中澤理恵 助教	群馬	【研究テーマ】 ・成長期スポーツ障害の予防 ・モンゴル国における若年者のスポーツ外傷・障害調査 【研究ツール】 ハイスピードカメラ、3軸加速度計	スポーツ外傷、障害予防、成長期		
ラ-128	中村和裕 教授	群馬	【研究テーマ】 タンパク凝集体の細胞間移動の解析 【研究ツール】 ・CD, DLS, 赤外分光 ・マウスの行動観察 ・培養細胞内の凝集体の挙動の評価	タンパク凝集体 ポリグルタミン病		
ラ-129	西島良美 講師	群馬	【研究テーマ】 ・子宮内膜病変における核の形状変化の解析 ・病理組織・細胞診標本を用いた形態学的研究 【研究ツール】 ・顕微鏡観察 ・免疫組織化学的解析 ・コンピューター支援画像解析 ・分子病理学的解析	子宮内膜病変 病理検査学 病理画像解析 細胞診断学		
ラ-130	野口直人 助教	群馬	【研究テーマ】 ・頸椎症患者の上肢の運動感覚機能の特性の調査 ・客観的上肢機能評価の開発 ・上肢機能と生活の質(Quality of life)と復職との関連性 【研究ツール】 ・把持(指でものをつかむ動作)機能の評価 ・リーチ機能(ものに手を伸ばす動作)評価 ・アンケート調査	頸椎症 上肢機能 客観的評価 Quality of life 復職・社会復帰		
ラ-131	久田剛志 教授	群馬	【研究テーマ】 ・呼気ガス分析による炎症性呼吸器疾患の病態解析と呼吸リハビリテーションの効果 ・炎症性呼吸器疾患に対する抗炎症性脂質メディエーターの作用解析 ・COPD、喘息に関する病態解析 【研究ツール】 呼吸機能検査、呼気ガス検査、動物実験、培養細胞を用いたin vitro実験	呼吸リハビリテーション、Myokine、COPD、気管支喘息、間質性肺炎、呼吸生理学、気道炎症、呼気ガス分析 アレルギー、動物モデル(遺伝子改変マウス)、脂質メディエーター、ω3脂肪酸、レゾルビン		
ラ-132	藤田行雄 教授	群馬	【研究テーマ】 ・神経変性疾患の神経病理学的研究 【研究ツール】 ・免疫組織染色 ・顕微鏡観察 ・クライオスタット	神経病学 神経病理学 神経変性疾患		
ラ-133	松井弘樹 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・脂肪酸の構成比などの質的制御による循環器、呼吸器、腎疾患の予防・治療へ向けた基礎的および臨床的研究 ・心肥大、動脈硬化、肺気腫、腎障害モデル動物を用いた病態解析 ・生理機能検査装置を用いたストレス度判定、循環器疾患のリスク解析 【研究ツール】 ・遺伝子発現(QPCR)、タンパク発現(WB・免疫染色)解析 ・マウス・ラットによる病態モデルの作製 ・エコーによる機能的解析 ・培養細胞を用いた遺伝子の過剰発現、ノックダウン、薬剤等の評価 ・自律神経の心拍変動解析(交感神経、副交感神経) ・唾液サンプルによるストレスホルモンの解析	脂肪酸 質的制御 心肥大・心不全 動脈硬化 肺気腫 肺線維症 急性腎障害 自律神経(交感・副交感神経) ストレスホルモン		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-134	三井真一 教授	群馬	【研究テーマ】 ・男女間や家族の絆による社会緩衝作用 (social buffering) の脳内機構の解析 ・精神発達障害や社会行動異常を伴う精神疾患の分子細胞生物学的解析 【研究ツール】 ・顕微鏡観察 (特に脳) ・げっ歯類での行動観察 (薬剤の効果検証など) ・培養細胞を用いた薬剤等の評価	遺伝子操作マウス 一夫一婦制を呈するネズミ 神経科学 社会行動・学習・探索に関わる脳領域		
ラ-135	山上徹也 教授	群馬	【研究テーマ】 ・生活リハによる認知症進行予防効果の検討 ・日常生活歩行評価による認知症早期発見方法の検討 ・生活環境とADLの関係 (例: 車椅子の走行距離と心身機能の関連) 【研究ツール】 回想法用の道具、ソフト、運動プログラム (筋トレ、協調運動)、ipod、活動量計、認知機能検査各種、ベッド用、車椅子用の体圧測定器、座位姿勢の分析ソフト、ストレス (自律神経機能) 測定機器、笑顔度測定機器、JINS MEME	認知症、認知症予防、リハビリテーション、フレイル、生活歩行、生活環境、ADL、心身機能		
ラ-136	山路雄彦 准教授	群馬	【研究テーマ】 ・生理的振戦の臨床応用 ・投球障害 ・義足歩行 ・地域包括ケアシステム 【研究ツール】 三次元動作解析装置、筋電図、加速度計、超音波診断装置、誘発筋電図、呼吸ガス分析装置	生理的振戦、投球障害、義足、通いの場、フレイル		
ラ-137	李 範爽 教授	群馬	【研究テーマ】 ・視線分析を通じた運転能力の評価 ・対人葛藤関係に着目した従業員満足度の向上 【研究ツール】 視線分析装置 行動分析 多職種連携企業診断	視線 高齢者運転 多職種連携 従業員満足		
ラ-138	岡美智代 教授	群馬	【研究テーマ】 ①生活習慣病患者の看護 ②「聞き書き」(life story book) の対話型AI の開発、並びに効果検証 ③糖尿病性腎臓病患者の看護支援 ④統合医療 【研究ツール】 テーマディック分析、介入研究、調査研究、共分散構造分析、尺度開発	慢性腎臓病、糖尿病、AI開発、患者教育、レジリエンス、テキストマイニング、森林療法		
ラ-139	京田亜由美 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①終末期がん患者の死生観 ②終末期がん患者と看護師のコミュニケーション ③化学療法患者の末梢神経障害による活動への影響 【研究ツール】 介入研究、半構造化面接、質的研究 (現象学、内容分析)、活動計調査、末梢神経障害尺度	終末期がん患者、生と死、コミュニケーション、末梢神経障害、活動		
ラ-140	橋本紗織 助教	群馬	【研究テーマ】 ・がんサバイバーのピア・サポートに関する研究 【研究ツール】 質的研究 (半構造化面接)	がん ピア・サポート		
ラ-141	近藤浩子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①看護学生および若手看護師のメンタルヘルス ②セルフコンパッション (マインドフルネス) ③精神障害からのリカバリ 【研究ツール】 調査研究、質的研究 (KJ法)、介入研究	メンタルヘルス、ストレスマネジメント、セルフコンパッション、マインドフルネス、癒し技法、精神障害		
ラ-142	近藤由香 教授	群馬	【研究テーマ】 ①がん患者の睡眠に関する研究 ②がん患者と家族へリラックスを促す研究 【研究ツール】 質的研究 (内容分析)、調査研究、介入研究	がん患者、睡眠、リラクセーション、ストレス緩和、緩和ケア		
ラ-143	金泉志保美 教授	群馬	【研究テーマ】 ①医療的ケア児の地域生活の支援 ②保育所等における子どもの健康支援 【研究ツール】 質的研究、介入研究	医療的ケア児、地域生活、退院支援、保健医療福祉連携、保育所、		
ラ-144	高橋さつき 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①ICTを活用した患者教育の開発・評価 ②慢性腎臓病患者への教育的支援に関する研究 【研究ツール】 調査研究、介入研究、eラーニング、アプリケーションソフトウェア	患者教育、コンピュータ支援学習、ユーザビリティ、慢性腎臓病、慢性疾患看護、マイクロラーニング		
ラ-145	佐藤江奈 助教	群馬	【研究テーマ】 ・変形性股関節症の保存療法、手術療法における身体機能 ・婦人科良性疾患の術前後経時的変化 ・器楽者の傷害対策と予防 【研究ツール】 超音波、HHD、デジタルカメラ、体組成計	変形性股関節症、X-P、婦人科良性疾患、疼痛、姿勢、筋厚、器楽、傷害予防		
ラ-146	佐藤由美 教授	群馬	【研究テーマ】 ①保健師の人材育成 ②在日外国人の子どもの健康支援 ③特定健康診査・保健指導の現状分析・効果検証 【研究ツール】 質的研究 (内容分析、M-GTA、エスノグラフィー、アクションリサーチなど) 記述疫学、分析疫学	保健師、人材育成、在日外国人 (在日ブラジル人) ヘルスリテラシー、特定健康診査、特定保健指導		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-147	篠崎博光 教授	群馬	【研究テーマ】 ①女性の健康に関する研究 ②妊婦の喫煙・受動喫煙に関する研究 ③帝王切開の至適時期に関する研究 【研究ツール】 観察研究、介入研究	月経前症候群、月経前不快気分障害、月経困難症、喫煙、受動喫煙、妊婦、帝王切開、新生児呼吸障害		
ラ-148	小澤厚志 教授	群馬	【研究テーマ】 ①内分泌腫瘍症発症機構に関する研究 ②遺伝性疾患に関する研究 ③生活習慣病に関する研究 ④希少疾患レジストリ 【研究ツール】 分子生物学、生化学、遺伝学 マウスモデル、患者検体、疫学調査	分子生物学、遺伝子 内分泌腫瘍、がん、糖尿病 遺伝カウンセリング 代謝、マウスモデル、次世代シーケンス		
ラ-149	松井理恵 助教	群馬	【研究テーマ】 ①地域の健康づくりにおける住民との協働に関する研究 ②がん検診受診に関する研究 【研究ツール】 質的研究(内容分析、アクションリサーチ等)	保健推進員、エンパワメント、協働、地域の健康づくり、がん検診		
ラ-150	松本光寛 助教	群馬	【研究テーマ】 ①患者教育・看護師教育に関する研究 ②ICTを活用した教育に関するシステム開発に関する研究(AI・メタバース) ③慢性疾患看護(脳神経疾患、循環器疾患等)に関する研究 ④看護師の睡眠・ストレス・バーンアウトに関する研究 【研究ツール】 介入研究 調査研究 アプリケーションソフトウェア	慢性疾患看護、患者教育、ICT教育、アプリケーションソフトウェア開発(AI・メタバース)、睡眠、ストレス、バーンアウト、専門看護師		
ラ-151	上星浩子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①看護教育、看護師教育に関する研究 ②冷え性患者に関する看護技術の検証 ③看護センス尺度の開発・検証 【研究ツール】 質的研究、介入研究	看護教育、臨床判断、看護技術、尺度開発、教育プログラム		
ラ-152	新井陽子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①周産期うつ病の予防 ②周産期の家族支援 ③思春期の包括的性教育 【研究ツール】 構造化面接、家族尺度、介入研究	産後うつ病、介入研究、予防、多職種連携、包括的性教育		
ラ-153	深澤友子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①早産児の母親への心理的支援に関する研究 ②早産児の母親への切れ目のない支援にむけた看看連携に関する研究 ③周産期のメンタルヘルスに関する研究 【研究ツール】 質的研究(半構造化面接)	母性看護、早産児、母親、メンタルヘルス、看看連携		
ラ-154	大山良雄 教授	群馬	【研究テーマ】 ①糖尿病に関する研究(予防、療養指導など) ②リンパ浮腫に関する研究(療養指導など) 【研究ツール】 観察研究、介入研究	糖尿病、栄養指導、合併症、リンパ浮腫		
ラ-155	大庭志野 教授	群馬	【研究テーマ】 ①生活習慣病の予防疫学 ②生活習慣病の栄養疫学 【研究ツール】 大規模データベース	一次・二次・三次予防 糖尿病 糖尿病予備軍 ダイエタリーグ リセミックインデックス インスリン分泌能 受動喫煙 禁煙		
ラ-156	塚越 徳子 助教	群馬	【研究テーマ】 ①がんと認知症を併せ持つ患者への看護支援の研究 ②がん看護外来に関する研究 【研究ツール】 半構造化面接 多変量解析	がん、認知症、看護外来		
ラ-157	辻村弘美 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①在日外国人の健康やヘルスリテラシー ②途上国を対象とした看護技術や看護教育 ③認知症ケアにおけるWell-beingに関する研究 【研究ツール】 観察研究、質的研究、因子分析	途上国、在日外国人、認知症、ヘルスリテラシー、看護教育		
ラ-158	田鹿 毅 教授	群馬	【研究テーマ】 ・運動器、整形外科疾患における超音波運動器評価 ・運動器、整形外科疾患における疫学調査(発症危険因子の検討) ・運動器、整形外科疾患における理学療法介入に関する多角的評価 【研究ツール】 超音波、運動器検診	成長期スポーツ障害、投球障害、手外科疾患、肘関節疾患、高齢者、ロコモティブシンドローム		

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-159	内田陽子 教授	群馬	【研究テーマ】 ①ICTを活用したケアシステム ②認知症ケア ③エンドオブライフケア ④在宅ケアの質向上・費用対効果・経営研究 ⑤ケアマネジメント ⑥災害時の認知症高齢者へのケア対応 ⑦火山噴火の地層や復興過程の歴史的調査 【研究ツール】 ICT,包括的BPSDケアシステム®の社会実装の実現 経済的評価、経営分析 フィールドワーク 現地発掘調査 SPSSでの統計分析	ICT、包括的BPSDケアシステム®, 認知症、BPSD、エンドオブライフケア、在宅ケア、費用対効果、経営、ケアマネジメント、ケアマネジメント、災害、浅間山		
ラ-160	柏瀬 淳 助教	群馬	【研究テーマ】 ①小児がん患児の治療継続中の日常生活行動と親の思いに関する研究 ②在宅療養をする医療的ケア児やその家族を支える看護に関する研究 【研究ツール】 半構造化面接	在宅、小児、訪問看護、医療的ケア児		
ラ-161	八木原ひなた 助教	群馬	【研究テーマ】 看護師のメンタルヘルスに関する研究 【研究ツール】 調査研究	看護師、メンタルヘルス、セルフコンパッション		
ラ-162	牧野孝俊 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①多職種連携教育の効果検証 ②児童虐待の世代間伝達 【研究ツール】 ①mATHCTS ②ビネット尺度	多職種連携、IPE、児童虐待、世代間		
ラ-163	國清 恭子 准教授	群馬	【研究テーマ】 ①出産体験の振り返りの支援 ②出産体験に関する看護介入モデル、教育プログラムの検討 【研究ツール】 出産体験の振り返りアセスメントツール	出産体験、出産体験の振り返り、介入研究		
ラ-164	吉原 亮平 助教	埼玉	生物の遺伝情報を担うDNA は、様々なDNA 損傷因子に曝されています。DNA 損傷は遺伝子突然変異を誘発し、発がんや遺伝病、細胞老化の原因となります。生物はこれらの脅威から身を守るため、DNA 損傷修復機構を獲得しました。この機構は大腸菌から植物、人に至るまで、地球上に存在するほぼ全ての生物が有しており、生物は各々の生存戦略に適したDNA 修復システムを構築しています。私は、高等植物と微生物を用いて、DNA 損傷修復、変異誘発、細胞の老化に関する基礎研究を行うことで、人以外の生物がもつDNA 損傷修復機構の全貌解明に取り組んでいます。将来的には、これらの基礎研究から得られた知見を有用生物の生長促進や病原性微生物による病害低減などに応用して行きたいと考えています。	DNA修復	大腸菌	放射線
ラ-165	松下 隆彦 助教	埼玉	糖鎖は糖鎖受容体と結びつくことで細胞間の情報伝達を行います。糖鎖単体では弱い結合しか持ちません。しかし、複数の糖鎖が集まると、その効果は単純な足し算をはるかに超え、時には数百倍から数十万倍にも及ぶ驚異的な力を発揮することがあります。これを「多価効果」と呼びます。私たちの研究の特徴は、この自然界の巧妙な仕組みを人工的に再現し、さらに強化することです。糖鎖や次世代抗体など、さまざまな分子を集積化した人工分子を設計し、その相互作用を詳しく調べています。分子が協力し合う力を上手に活かすことで、医療の未来に貢献できることを願っています。	糖鎖	抗体	多価効果
ラ-166	高橋 大輔 准教授	埼玉	●凍結ストレス以外にも、植物の様々な環境ストレスの耐性評価を行うことができます。 ●農作物の付加価値として重要な単糖や多糖の定量のほか、多糖の組織分布解析などがあります。 ●環境ストレス耐性とバイオマスのトレードオフ関係にも着目しています。	植物	環境ストレス	凍結耐性
ラ-167	西山 佳孝 教授	埼玉	●微細藻類ナンノクロロプシスで油脂を高効率で高生産させる技術の開発 ●微細藻類シアノバクテリアで遊離脂肪酸を細胞外生産させる技術の開発 ●微細藻類の光合成の強光耐性を向上させる技術の開発 ●微細藻類の光合成の高温耐性を向上させる技術の開発	微細藻類	バイオ燃料	再生可能エネルギー
ラ-168	米山 香織 准教授	埼玉	●構造的に不安定で壊れやすいストリグラクトンの同定・定量を行う事ができます ●ストリグラクトンの機能が明らかになったのは2000 年代であり、その生合成経路や分泌制御メカニズムなど不明なことばかりで、新規参入しやすいです ●日本だけでなくイスラエル、アメリカ、イタリア、オーストラリアなど海外との共同研究も積極的に行なっています	ストリグラクトン	植物ホルモン	AM 菌
ラ-169	半田 友衣子 准教授	埼玉	●配位高分子化を利用する希土類元素の水系分別沈殿 ●ネオジム/ジスプロシウム、ジスプロシウム/テルビウムの相互分離	ネオジム	ジスプロシウム	低環境負荷
ラ-170	高橋 朋子 准教授	埼玉	●細胞死を引き起こすRNA ウイルスの感染が、microRNA により制御されるメカニズムを解明。 ●核酸医薬品としての応用が期待されるsiRNA とmicroRNA などの小分子核酸の抗ウイルス機能を解明中。 ●小分子核酸の核酸医薬としての応用	microRNA	ウイルス防御機構	核酸医薬
ラ-171	坂田 一郎 教授	埼玉	●ヒトの消化管運動モデル動物を用いた創薬開発 ●消化管運動改善薬のスクリーニング及び作用機序の解明	消化管運動	創薬	スinks
ラ-172	乙須 拓洋 准教授	埼玉	●脂質二重膜の物性解析を定量的に行える ●膜結合蛋白質と脂質二重膜の相互作用解析ができる ●脂質二重膜を構成する2 つの単層膜中での脂質動態を個々に計測できる ●ニーズに合わせた顕微鏡装置の構築ができる	細胞膜	生物物理化学	脂質二重膜
ラ-173	坂口 美幸 助教	埼玉	●生体高分子の構造ゆらぎを詳細に解析する方法の開発 ●細胞内環境が与えるダイナミクスへの影響の解析 ●一分子レベルで生体高分子の反応経路を定量解析 ●細胞内における生体高分子の性質の高精度解析	分光	タンパク質	核酸

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
ラ-174	鈴木 陽太 助教	埼玉	●どこでも、だれでも使える簡便な分析システムの開発 ●多段階の有機合成操作を必要としない、単純な構造の分析試薬の開発 ●特許出願済み(特願2022-129691) ●D- グルコースを光らせる分析試薬の開発 ●糖との結合によって溶液の色調が変化する分析試薬の開発 ●アデノシン三リン酸を光らせる分析試薬の開発	分析試薬		発光
ラ-175	松永 康佑 准教授	埼玉	●生体分子のシミュレーションにおいて、スパコンを用いた高度な計算から、複数の市販ソフトウェア、フルスクラッチ開発コードを用いて論文を出版した経験があります ●創薬や材料開発において、実験結果を説明するための構造・物性情報が必要となる際にシミュレーションからそれをサポートすることができます ●市販の分子モデリングソフトでは解決できない問題の相談に乗ります	分子シミュレーション	生体分子	統合モデリング
ラ-176	入山 太嗣 助教	埼玉	●AIを活用したカメラ画像信号処理技術により、RAW 画像から高品質なカラー画像を復元できます。 ●直感的で高品質な写真編集により、モバイルカメラのユーザ体験が向上できます。 ●(活用例)AIを活用したスマートフォン向けカメラ画像信号処理アルゴリズムの開発	画像処理	コンピュータショナルフォトグラフィ	AI
ラ-177	加藤 有希子 教授	埼玉	●多くの研究論文、講演、研究著書に加え、2021 年度から自著の小説の出版をはじめています。 ●私が小説執筆をはじめたのは2008 年ですが、それ以来、書き溜めたものを徐々に出版し、「美」がなんであるのかを、学術だけではなく、芸術の分野から広めています。	美しさ	共感	答えのない問
ラ-178	石阪 督規 教授	埼玉	●インターンシップマッチングサイトの企画・運営 ●オリジナルのアセスメントテストを用いた企業研修・コンサルティング ●人口減少地域のコミュニティ再生(三重県尾鷲市など全国各地) ●アセスメントテスト(長所発見テストVSAT(Visualize Strength Assessment Test))の開発 ●企業での人材育成プログラムの実施(研修、講演)	地域創生	人材育成	若者就業支援
ラ-179	横山 悟 教授	埼玉	内発的モチベーションや自己効力感は、学習成果に及ぼす影響力が強いとされている。本研究では、どのようなポイントを押さえれば遠隔教育において学習者の内発的モチベーションや学業に関する自己効力感を高められるか、についての実証的な研究を行っている。実証的な研究結果に基づいたモチベーションを高める方略を実装していないような遠隔教育教材に対して、実証的な研究を行い、改善を促すことが可能となる。	遠隔教育	モチベーション	学習意欲
ラ-180	谷津 修一 准教授	埼玉	●障がいのある学生の修学支援 ●障がい者の権利擁護 ●バリアフリー環境の整備	障がい者支援	修学支援	共生環境の実現
ラ-181	瀬山 紀子 准教授	埼玉	●様々な「人権問題」に向き合い、課題解決を目指すことがこの先の企業活動においても重要なテーマだと考えます ●ジェンダー平等、障害のある人の権利、性の多様性の尊重などのダイバーシティの推進を進めていくことが課題解決の鍵になると考えています ●災害支援におけるジェンダー・多様性配慮のガイドライン作成 ●ジェンダー・多様性をベースにしたまちづくり、コミュニティづくり ●当事者参加型の多様性理解研修プログラムの開発	人権	ジェンダー平等	インターセクショナルティ
ラ-182	薩 秀夫 教授	群馬	超高齢社会を迎えた現在の日本では予防医学が重要であり、さらに「健康寿命」の延伸を目指して、病気の予防や健康増進が期待される食品成分の探索・解析を主にモデル細胞を用いて取り組んでいます。	機能性食品	食品成分	疾病予防
ラ-183	磯貝 章太 准教授	宇都宮	●応用微生物学 ・スレオニン脱アミノ化酵素Ily1の新規変異体がイソロイシン生産と清酒醸造特性に与える影響 ・アミノ酸機能工学による大腸菌へのストレス耐性の付与	アミノ酸生成酵素	応用微生物学	フロンティア食品
ラ-184	阿部 朋行 助教	宇都宮	●メディカルバイオ ・農学(動物科学)と医学を融合させた「メディカルバイオ技術」の発展に貢献する研究 ・生きている動物の体内変化を、傷つけることなく光(発光反応)でリアルタイムに観察	幹細胞・iPS細胞	生体イメージング	ゲノム編集
ラ-185	横山 智樹 助教	宇都宮	●農業、農村地域経済 ・地域社会の持続可能性と危機管理 ・農漁村地域における「家」制度とジェンダーに関する研究 ・農業の持続的発展と農村の活性化	社会学 (農村社会学、家族社会学)	農漁村地域 / 地域社会の危機管理	農村振興・活性化
ラ-186	松平 尚也 助教	宇都宮	●農業経済／エコロジカル社会経済 ・持続可能な食料・農業政策とアグロエコロジー ・農業・農家と自然生態系の関係(ポリティカルエコロジー) ・小農・家族農業の再評価と農家行動の原理	持続可能な農業政策	有機農業	環境と農業・食料
ラ-187	青柳 悠也 助教	宇都宮	●農業環境/情報工学 ・農作業安全および事故防止システムの開発、事故リスクの評価、危険要因、農作業の安全性向上研究 ・機械学習や農用ロボット、農業データを活用した作業支援システムの研究 ・作物の生育予測や農作業データの利活用により、生産効率を最適化する仕組みを研究 ・障がい者等の農業分野での就労を促す「農福連携」	スマート農業	農作業安全	農福連携
ラ-188	根津 郁実 助教	宇都宮	●材質育種学、木質科学 ・木材のミクロ・マクロ構造の解明と多様性の探究 ・材質評価・管理のスマート化と材質育種への貢献 ・樹木の成長プロセスや将来の材質変化についてのシミュレーション	材質(Wood quality)	木材強度(マクロ評価)	細胞構造(ミクロ評価)

番号	研究者	大学	相談可能分野/産業界へのアピールポイント	キーワード1	キーワード2	キーワード3
フ-1	岡田 誠 教授	茨城	古地磁気層序、酸素同位体層序による堆積物の年代決定	海底堆積物	古地磁気	古海洋
フ-2	小坂昌史 教授	埼玉	純良結晶試料の作成技術、物性測定(磁化、比熱、電気抵抗等)	強相関電子系	希土類金属間加工物の結晶作成	
フ-3	Senaviratna Jayasanka (セナヴィラタナ ジャヤサンカ) 助教	埼玉	植物は予想以上に多くのストレス要因に直面している。 植物のストレス応答を迅速に決定することが重要となる。 植物を研究するための新しい技術が必要である。 環境指標として植物シグナルを適用することを期待する。	水生植物生態学	植物環境ストレス	植物ストレス応答
フ-4	明連広昭 教授	埼玉	THz分光 赤外線分光 X線分光 情報通信 放射線検出器	超伝導トンネル接合	フォトン検出器	光子数検出器
フ-5	田中伊知朗 教授	茨城	医薬品、食品・農産物、無機・有機デバイス、高分子材料、燃料電池、触媒など	J-PARC	生体高分子	中性子回折
フ-6	寺田幸功 教授	埼玉	高感度放射線検出器(工学利用・医学利用) 科学衛星通信規格	宇宙物理	銀河系内天体	飛翔体実験
フ-7	野澤恵 教授	茨城	宇宙天気予報、人工衛星障害予測	宇宙プラズマ	MHD	人工衛星障害
フ-8	藤井雄作 教授	群馬	自由外出マスク(ヘルメット型) 安心ブース(ブース型) COVID-19対策 街路カメラシステムによる社会安全とプライバシー 浮上質量法による精密計測・材料試験	自由外出マスク	COVID-19	防犯カメラ
フ-9	田代 信 教授	埼玉	高感度放射線検出器(工学利用・医学利用)、科学衛星通信規格、データ処理システム	宇宙物理	活動銀河	ガンマ線バースト
フ-10	高橋昭久 教授	群馬	宇宙生物学実験 模擬宇宙環境装置	宇宙放射線	重力変化	複合影響
フ-11	大塚 崇光 助教	宇都宮	プラズマ科学、量子ビーム科学 ・レーザー航跡場電子加速 ・航跡場計測 ・テラヘルツ加速 ・高出力パルスレーザーシステムの開発	高強度超短パルスレーザー	プラズマ	レーザー航跡場
フ-12	鶴田直也 助教	宇都宮	計算幾何 ・折り紙の数理を活用した形状設計 ・多面体グラフの立体化 ・見立てによるデザイン支援に関する研究	コンピュータグラフィックス	形状モデリング	折り紙
フ-13	森田大樹 助教	宇都宮	レーザー応用 ・全ファイバー型超広帯域光源の開発 ・超広帯域レーザーを用いた材料特性評価 ・高強度レーザーとプラズマの相互作用に関する研究	レーザーセンシング	超広帯域レーザー	レーザー・プラズマ相互作用
フ-14	深沢嘉紀 准教授	宇都宮	バイオインフォマティクス、ゲノム科学 ・生命科学データの統合解析 ・ゲノムの繰り返し性を考慮した変異解析の研究	ゲノム解析	バイオインフォマティクス	AI
フ-15	柏倉 隆之 准教授	宇都宮	応用物理学・X線分光分析 ・ラボラトリー軟X線XAFSの実用化研究 ・軟X線逆光電子分光の実用化研究 ・X線量子エレクトロニクス	X線分光分析	薄膜・界面分析	化学状態分析
フ-16	小池 正史 教授	宇都宮	素粒子論、数理論物理学 ・ニュートリノ振動、CP対称性の破れ ・レプトンフレイバーの非保存過程 ・暗黒物質を説明しうる素粒子模型の探求	弱い相互作用	CP非保存	レプトンフレイバー
フ-17	齋藤 和史 助教	宇都宮	プラズマ物理学 ・プラズマの基礎物理研究 ・微粒子プラズマの基礎研究 ・実験室と宇宙を繋ぐ研究	微粒子プラズマ	プラズマ中の波動・振動	プラズマ中の非線形現象
フ-18	矢嶋 徹 教授	宇都宮	数理論物理学、物性基礎論 ・物質(流体など)における非線形波動、非線形発展方程式の解析 ・可積分方程式の数理解構と確率論への応用 ・離散発展方程式とその応用の数値解析	非線形波動	応用数学	数理論物理学
フ-19	八巻 和宏 准教授	宇都宮	電子物性、結晶成長 ・ルテニウム系銅酸化物磁性高温超伝導体の単結晶育成 ・銅酸化物高温超伝導体のフローティングゾーン法による結晶成長 ・高温超伝導体単結晶の固有ジョセフソン接合を利用した高周波発振素子	単結晶育成	構造解析	磁化測定
フ-20	船津 賢人 准教授	群馬	専門分野は「航空宇宙工学」で、地球に帰還する「はやぶさ／はやぶさ2」探査機のカプセルなどの熱防衛法について研究をしています。現在は、船舶海洋工学や巨大地下空間創出に関する研究にも取り組んでいます。	高速高温流体力学	宇宙飛翔体の熱防衛技術	